

平成28年度予算の概要



新市営斎場完成予想図



新消防庁舎



都和小学校新校舎



土浦市

目 次

平成28年度予算の概要	1
-------------------	---

平成28年度主要事業

第2款 総 務 費	17	介護保険特別会計	75
第3款 民 生 費	26	下水道事業特別会計	77
第4款 衛 生 費	29	土浦駅前北地区市街地 再開発事業特別会計	80
第5款 農林水産業費	37	水道事業会計	82
第6款 商 工 費	40		
第7款 土 木 費	43	第7次土浦市総合計画 体系別主要事業一覧表	84
第8款 消 防 費	61		
第9款 教 育 費	62		

1. 予算編成の基本方針



国においては、基本方針2015で示された「経済・財政再生計画」の初年度である平成28年度予算を編成するに当たり、「手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組む。施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化する。」としています。本市においても、市税収入が伸び悩み、基金の取崩しにより予算を編成している厳しい状況にある中で、国の方針に同調し、徹底した経常経費の見直しに取り組みました。一方で、合併特例債事業である市営斎場を始め、新図書館を核とする土浦駅西口の再生、新治地区小中一貫教育学校整備や都和小学校校舎改築、川口運動公園野球場整備、ごみ焼却施設整備など、本市発展の根幹となる社会資本の整備に、重点的・集中的に予算を配分しました。

また、「土浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けた施策を積極的に推進するとともに、昨年度に策定した「長期財政見通し」を踏まえ、老朽化した公共施設等の延命化により歳出の削減・平準化を図りつつ、ふるさと土浦応援寄付、合併振興基金の活用など歳入の確保に努め、持続可能な財政運営を目指した予算を編成しました。

2. 予算の規模等



(単位：千円，%)

区 分	平成28年度	平成27年度	増減	増減率
一般会計	57,480,000	59,290,000	▲ 1,810,000	▲ 3.1
特別会計	46,279,999	45,280,000	999,999	2.2
合 計	103,759,999	104,570,000	▲ 810,001	▲ 0.8

(参考) 予算の伸び率の推移

(単位：%)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
土浦市一般会計	1.0	7.4	▲ 2.2	7.2	9.3	3.5	▲ 3.1
地方財政計画	▲ 0.5	0.5	▲ 0.8	0.1	1.8	2.3	0.6
国一般会計	4.2	0.1	▲ 2.2	2.5	3.5	0.5	0.4

※平成28年度地方財政計画伸び率は、平成27年12月24日「平成28年度地方財政対策」による。

※平成28年度国一般会計伸び率は、平成28年度予算政府案による。

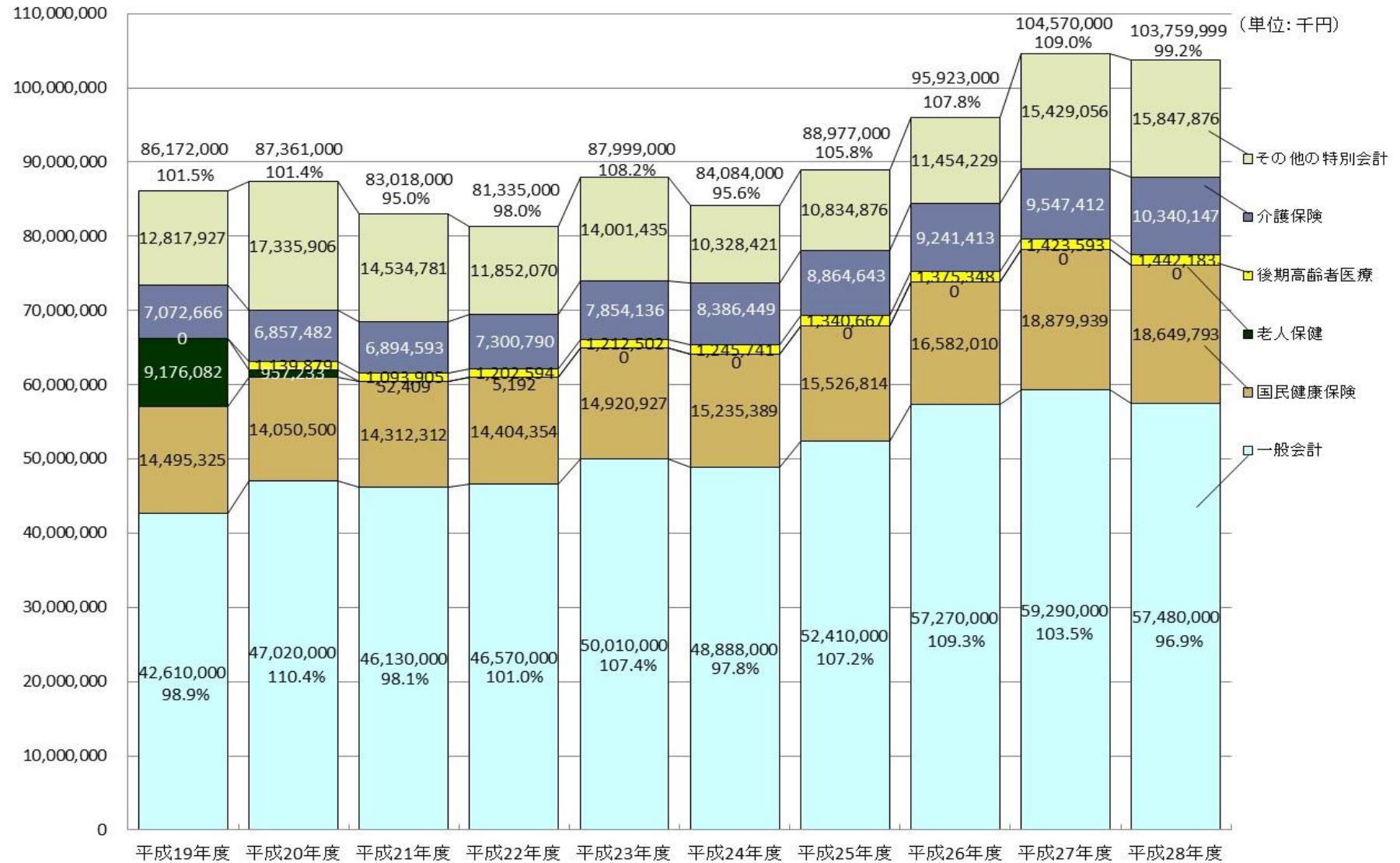
3. 各会計別予算総括



(単位：千円，％)

会 計 別		平 成 2 8 年 度		平 成 2 7 年 度		比 較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	伸 率
一 般 会 計		57,480,000	55.4	59,290,000	56.7	▲ 1,810,000	▲ 3.1
特 別 会 計	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	443,686	0.4	397,224	0.4	46,462	11.7
	駐 車 場 事 業	165,510	0.2	303,817	0.3	▲ 138,307	▲ 45.5
	国 民 健 康 保 険	18,649,793	18.0	18,879,939	18.0	▲ 230,146	▲ 1.2
	後 期 高 齢 者 医 療	1,442,183	1.4	1,423,593	1.4	18,590	1.3
	介 護 保 険	10,340,147	10.0	9,547,412	9.1	792,735	8.3
	下 水 道 事 業	5,366,660	5.2	5,830,848	5.6	▲ 464,188	▲ 8.0
	農 業 集 落 排 水 事 業	142,848	0.1	131,796	0.1	11,052	8.4
	土 浦 駅 前 北 地 区 市 街 地 再 開 発 事 業	4,300,364	4.1	2,630,560	2.5	1,669,804	63.5
	水 道 事 業	5,428,808	5.2	5,975,575	5.7	▲ 546,767	▲ 9.2
	× 公 設 地 方 卸 売 市 場 事 業	—	—	159,236	0.2	▲ 159,236	皆減
	特 別 会 計 計	46,279,999	44.6	45,280,000	43.3	999,999	2.2
合 計		103,759,999	100.0	104,570,000	100.0	▲ 810,001	▲ 0.8

4. 予算規模の推移（会計別）



5. 平成28年度 土浦市予算の特徴



平成28年度土浦市歳入歳出予算は、103,759,999千円で、対前年度810,001千円、0.8%の減となったものの、平成27年度に次ぐ史上2番目の予算規模となりました。

(一般会計:57,480,000千円 対前年度1,810,000千円 3.1%減, 特別会計:46,279,999千円 対前年度999,999千円 2.2%増)

【歳入】

- 市税は、法人税割の税率見直しの影響等による減収があったものの、個人市民税の増等により、対前年度353,195千円、1.6%の増となりました。
- 使用料及び手数料は、ウラ使用料や水郷プール使用料の増等により、対前年度143,371千円、13.3%の増となりました。
- 繰入金は、財政調整基金繰入金の減等により、対前年度630,177千円、24.0%の減、また、繰越金は300,000千円を計上し、対前年度200,000千円、40.0%の減となりました。
- 市債は、市営斎場整備事業費債等が増となった一方で、新消防庁舎整備事業費債、都和小学校校舎改築事業費債、真鍋神林線延伸道路整備事業費債等の減により、対前年度2,127,792千円、18.2%の減となりました。

【歳出】

合併特例債事業である市営斎場整備事業や、土浦駅前北地区市街地再開発事業を中心とする土浦駅西口の整備が本格的に進捗するほか、新治地区小中一貫教育学校整備事業、川口運動公園野球場整備事業など、本市発展の根幹となる社会資本の整備を推進します。ソフト面では、地方創生の本旨実現のため、「土浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた経済再生・地域活性化に資する施策の積極的な推進を図るほか、小中一貫教育やICT教育などに引き続き取り組むとともに、環境への配慮や子育て支援、少子高齢化に対応した医療・福祉の充実など、住みやすいまちづくりのための事業を推進していきます。さらに、行財政改革、市民協働のまちづくりを推進し、市民満足度の向上を図ります。

○ 土浦駅前の再生など、本市の歴史に刻まれる事業を推進します。

市営斎場整備事業 2,353,450千円 土浦駅西口広場整備事業 242,123千円
神立駅西口地区土地区画整理事業 503,000千円 新図書館施設整備事業・美術品展示室整備事業 978,000千円
土浦駅前北地区市街地再開発事業 4,190,148千円

○ にぎわいのあるまちづくり・市民との協働のまちづくりを推進します。

ふるさと土浦応援寄付事業 98,179千円 地域公民館整備事業 68,620千円
市民による市民のための健康減量教室事業 1,241千円 新しい農業研究開発事業 500千円
企業誘致事業 107,749千円 協働のまちづくりファンド事業 17,250千円 かわまちづくり事業 21,663千円
亀城モール整備事業 135,852千円 まちなか定住促進支援事業 32,200千円
土浦港周辺広域交流拠点整備事業 8,000千円

○ **心豊かな教育・文化のまちづくりを推進します。**

情報教育関係事業 11,305千円 小学校／中学校施設非構造部耐震化事業 200,000千円
新治地区小中一貫教育学校整備事業 655,244千円 「大畑からかさ万灯」記録調査事業 2,202千円
武者塚古墳出土品保存台製作事業 2,290千円 水郷プール再整備事業 59,692千円
川口運動公園野球場観覧席、夜間照明灯及び関連施設整備事業 1,309,008千円
学校給食センター再整備事業 20,835千円

○ **市民が主役の安心・安全のまちづくりを推進します。**

防犯対策事業 40,123千円 地域防災対策整備事業 110,228千円
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業 63,500千円
常備消防車両更新事業 49,313千円 公共下水道雨水排水路整備事業 961,500千円

○ **ふれあいとあたたかいまちづくりを推進します。**

出生届・婚姻届お祝いシート発行事業 474千円 軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業 180千円
生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）2,784千円 私立保育園整備事業 6,480千円
在宅医療・介護連携拠点事業 2,168千円 認知症施策推進事業 991千円

○ **環境を重視するまちづくりを推進します。**

一般廃棄物有料化事業 600千円 生ごみ及びプラスチック製容器包装分別収集事業 385,047千円
第2次土浦市ごみ処理基本計画策定事業 3,845千円 ごみ焼却施設整備事業 1,616,751千円
環境基本計画見直し事業 5,542千円 公共下水道（污水）整備事業 532,024千円

○ **「土浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた施策を推進します。**

シティプロモーション推進事業 8,000千円 水郷筑波サイクリング環境整備事業 8,285千円
ジオパーク推進事業 1,400千円 男女共同参画センター事業 700千円 農産物地域特産化推進事業 810千円

○ **公共施設の今後のあり方を考えるとともに、適切な維持管理、延命化を推進します。**

道路ストック修繕事業／市道路面下空洞修繕事業 72,000千円 橋梁耐震対策事業・橋梁長寿命化修繕事業 117,000千円
下水道長寿命化対策事業 45,500千円 配水管施設整備事業／老朽管更新事業 910,000千円
配水場整備事業（右俣配水場） 271,000千円

6. 合併特例債事業の概要



(単位：千円)

事業名	平成28年度 事業費	左のうち合併 特例債活用額	平成28年度事業概要	合併特例債活用期間 (予定)
市営斎場整備事業	2,344,141	2,197,300	建築工事	平成24年度～28年度
土浦駅前北地区市街地再開発事業 (新図書館・ギャラリー整備事業)	1,419,132	—	建築工事	平成26年度, 平成29年度
朝日トンネル整備事業	—	—		平成19年度～24年度
小町の館整備事業	—	—		平成23年度～25年度
新治運動公園整備事業	—	—		平成23年度～25年度
新治地区公民館建設事業	—	—		平成23年度～25年度
公的医療機関建設支援事業	—	—		平成26年度
道路新設改良事業	—	—		平成18年度～27年度
新消防庁舎整備事業	—	—		平成24年度～27年度
合 計	3,763,273	2,197,300		

7. 一般会計歳入の概要



(1) 歳入内訳

(単位：千円，％)

款 別	平成 28 年度		平成 27 年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	伸 率
1 市 税	22,321,679	38.8	21,968,484	37.1	353,195	1.6
2 地 方 譲 与 税	473,372	0.8	442,533	0.8	30,839	7.0
3 利 子 割 交 付 金	25,945	—	31,967	0.1	▲ 6,022	▲ 18.8
4 配 当 割 交 付 金	147,032	0.3	150,378	0.3	▲ 3,346	▲ 2.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	105,876	0.2	72,134	0.1	33,742	46.8
6 地 方 消 費 税 交 付 金	2,586,227	4.5	2,387,839	4.0	198,388	8.3
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	5,226	—	5,996	—	▲ 770	▲ 12.8
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	80,468	0.1	61,218	0.1	19,250	31.4
9 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	14,588	—	15,631	—	▲ 1,043	▲ 6.7
10 地 方 特 例 交 付 金	73,053	0.1	68,658	0.1	4,395	6.4
11 地 方 交 付 税	4,229,340	7.4	4,101,000	6.9	128,340	3.1
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	28,649	0.1	25,969	0.1	2,680	10.3
13 分 担 金 及 び 負 担 金	670,026	1.2	676,454	1.1	▲ 6,428	▲ 1.0
14 使 用 料 及 び 手 数 料	1,217,456	2.1	1,074,085	1.8	143,371	13.3
15 国 庫 支 出 金	9,081,802	15.8	9,120,882	15.4	▲ 39,080	▲ 0.4
16 県 支 出 金	3,187,898	5.5	3,037,443	5.1	150,455	5.0
17 財 産 収 入	69,084	0.1	83,747	0.1	▲ 14,663	▲ 17.5
18 寄 付 金	150,003	0.3	5,002	—	145,001	2,898.9
19 繰 入 金	1,993,020	3.5	2,623,197	4.4	▲ 630,177	▲ 24.0
20 繰 越 金	300,000	0.5	500,000	0.8	▲ 200,000	▲ 40.0
21 諸 収 入	1,126,990	2.0	1,117,325	1.9	9,665	0.9
22 市 債	9,592,266	16.7	11,720,058	19.8	▲ 2,127,792	▲ 18.2
歳 入 合 計	57,480,000	100.0	59,290,000	100.0	▲ 1,810,000	▲ 3.1

(2) 歳入予算の概要

57,480,000千円

対前年度

▲ 1,810,000千円 ▲ 3.1%

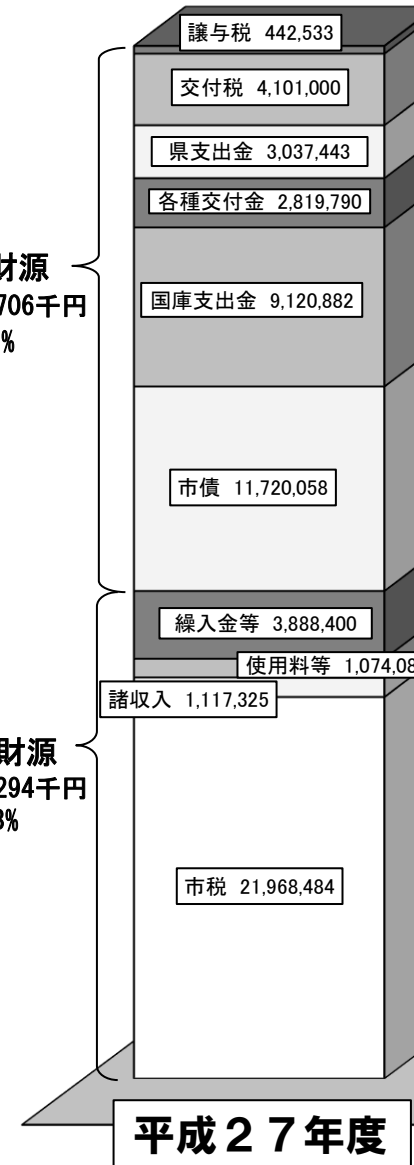
- 依存財源は、1,609,964千円の減（▲5.2%）となったものの、大型事業が進行中のため5割超となっている。
- 自主財源は、法人税割の税率見直しの影響があったものの、個人市民税等の増により、200,036千円の減（▲0.7%）にとどまった。
- 総額で、1,810,000千円、3.1%の減

	対前年度	増減額	増減率
●市税		353,195千円	1.6%
【増加】個人市民税、固定資産税			
【減少】法人市民税			
●各種交付金		247,274千円	8.8%
【増加】地方消費税交付金			
●地方交付税		128,340千円	3.1%
【増加】普通交付税			
震災復興特別交付税			
●国庫支出金		▲ 39,080千円	▲ 0.4%
【増加】年金生活者等支援臨時福祉給付金（皆増）			
障害者自立支援給付費負担金			
【減少】水郷プール再整備事業社会資本整備総合交付金（皆減）			
●県支出金		150,455千円	5.0%
【増加】障害者自立支援給付費負担金			
第74回国民体育大会市町村競技施設整備補助金（皆増）			
●繰入金等		▲ 706,267千円	▲ 18.2%
【増加】ふるさと土浦応援寄付金、合併振興基金繰入金			
【減少】財政調整基金繰入金			
●市債		▲ 2,127,792千円	▲ 18.2%
【増加】市営斎場整備事業費債			
新治地区小中一貫教育学校整備事業費債（皆増）			
【減少】新消防庁舎整備事業費債（皆減）			
都和小学校校舎改築事業費債			

59,290,000千円

依存財源
31,241,706千円
52.7%

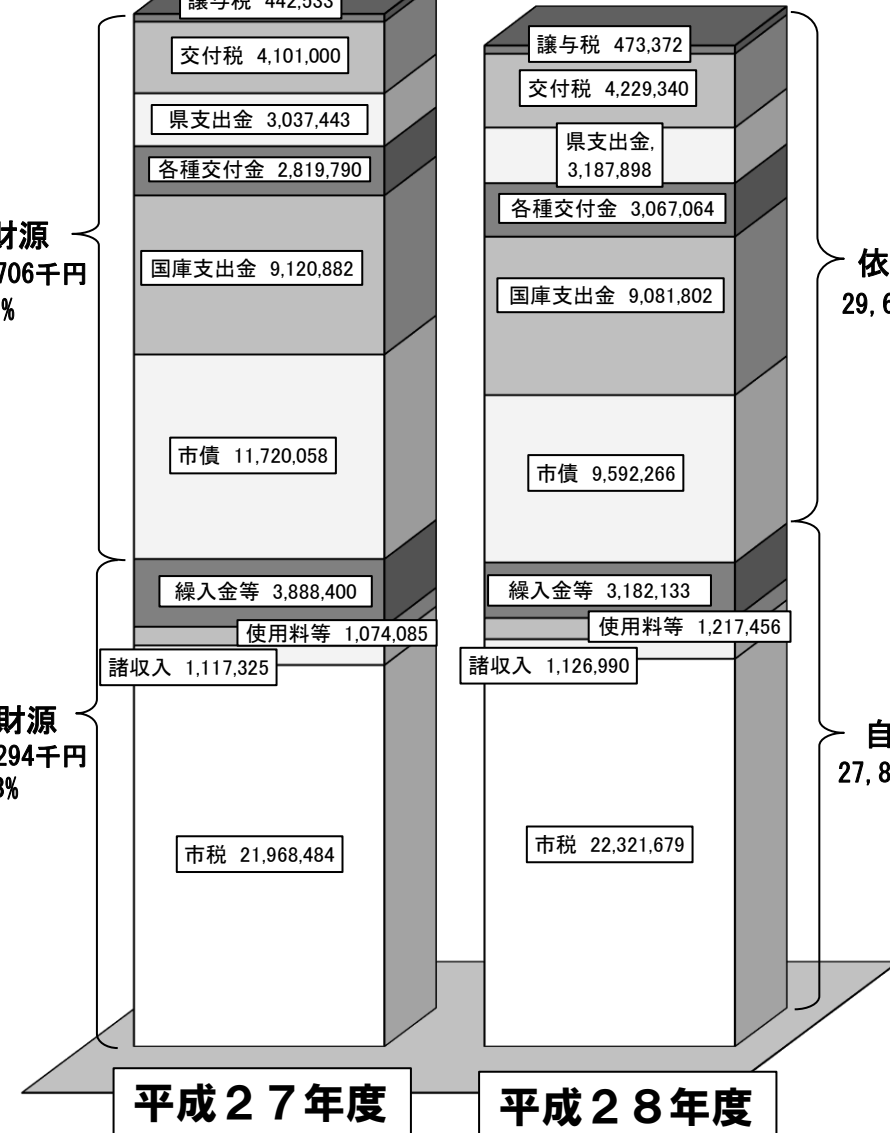
自主財源
28,048,294千円
47.3%



57,480,000千円

依存財源
29,631,742千円
51.6%

自主財源
27,848,258千円
48.4%



(3) 市税の状況

(単位：千円，％)

税 目 \ 区 分		平 成 2 8 年 度			平 成 2 7 年 度			比 較			
		調 定 額	計上率	予 算 額	調 定 額	計上率	予 算 額	調 定 額	伸 率	予 算 額	伸 率
現年度	市 民 税	10,315,790	98.2	10,134,524	10,215,711	97.5	9,958,061	100,079	1.0	176,463	1.8
	個 人	8,125,259	97.9	7,950,565	7,914,970	97.1	7,681,478	210,289	2.7	269,087	3.5
	法 人	2,190,531	99.7	2,183,959	2,300,741	99.0	2,276,583	▲ 110,210	▲ 4.8	▲ 92,624	▲ 4.1
	固 定 資 産 税	9,092,873	97.6	8,875,852	8,957,174	96.9	8,676,658	135,699	1.5	199,194	2.3
	純 固 定 資 産 税	9,042,510	97.6	8,825,489	8,905,254	96.9	8,624,738	137,256	1.5	200,751	2.3
	国 有 資 産 等 所 在 市 町 村 交 付 金	50,363	100.0	50,363	51,920	100.0	51,920	▲ 1,557	▲ 3.0	▲ 1,557	▲ 3.0
	軽 自 動 車 税	272,612	94.9	258,708	262,201	94.5	247,649	10,411	4.0	11,059	4.5
	た ば こ 税	1,323,706	100.0	1,323,706	1,336,027	100.0	1,336,027	▲ 12,321	▲ 0.9	▲ 12,321	▲ 0.9
	特 別 土 地 保 有 税	-	-	-	1	100.0	1	▲ 1	皆減	▲ 1	皆減
	都 市 計 画 税	1,452,511	97.6	1,417,650	1,436,795	96.9	1,391,536	15,716	1.1	26,114	1.9
	現 年 計	22,457,492	98.0	22,010,440	22,207,909	97.3	21,609,932	249,583	1.1	400,508	1.9
滞納繰越分	市 民 税	598,109	16.7	99,888	696,928	20.2	140,788	▲ 98,819	▲ 14.2	▲ 40,900	▲ 29.1
	個 人	524,460	18.0	94,402	595,102	21.9	130,565	▲ 70,642	▲ 11.9	▲ 36,163	▲ 27.7
	法 人	73,649	7.5	5,486	101,826	10.0	10,223	▲ 28,177	▲ 27.7	▲ 4,737	▲ 46.3
	固 定 資 産 税	971,517	18.2	176,330	1,131,747	16.0	181,532	▲ 160,230	▲ 14.2	▲ 5,202	▲ 2.9
	軽 自 動 車 税	41,450	16.0	6,611	41,181	16.5	6,811	269	0.7	▲ 200	▲ 2.9
	特 別 土 地 保 有 税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	都 市 計 画 税	156,532	18.2	28,410	183,421	16.0	29,421	▲ 26,889	▲ 14.7	▲ 1,011	▲ 3.4
	滞 納 繰 越 計	1,767,608	17.6	311,239	2,053,277	17.5	358,552	▲ 285,669	▲ 13.9	▲ 47,313	▲ 13.2
合 計		24,225,100	92.1	22,321,679	24,261,186	90.5	21,968,484	▲ 36,086	▲ 0.1	353,195	1.6

8. 一般会計歳出の概要



(1) 歳出内訳

(単位：千円，％)

款別	平成28年度		平成27年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
1 議会費	373,185	0.7	417,052	0.7	▲ 43,867	▲ 10.5
2 総務費	5,018,961	8.7	5,634,848	9.5	▲ 615,887	▲ 10.9
3 民生費	18,932,482	32.9	17,570,863	29.6	1,361,619	7.7
4 衛生費	7,898,248	13.7	5,270,254	8.9	2,627,994	49.9
5 農林水産業費	689,210	1.2	872,669	1.5	▲ 183,459	▲ 21.0
6 商工費	902,164	1.6	893,044	1.5	9,120	1.0
7 土木費	8,174,072	14.2	9,860,860	16.6	▲ 1,686,788	▲ 17.1
8 消防費	1,832,872	3.2	4,113,549	6.9	▲ 2,280,677	▲ 55.4
9 教育費	8,653,391	15.1	9,750,495	16.5	▲ 1,097,104	▲ 11.3
10 公債費	4,941,472	8.6	4,810,564	8.1	130,908	2.7
11 災害復旧費	13,943	—	45,802	0.1	▲ 31,859	▲ 69.6
12 予備費	50,000	0.1	50,000	0.1	—	—
歳出合計	57,480,000	100.0	59,290,000	100.0	▲ 1,810,000	▲ 3.1

(2) 歳出予算の概要

57,480,000千円

対前年度

▲ 1,810,000千円 ▲ 3.1%

- 史上2番目の規模の一般会計予算
- 障害者自立支援給付費支給事業、臨時福祉給付金事業などにより、民生費は1,361,619千円、7.7%の増
- ごみ焼却施設整備事業、市営斎場整備事業などの事業進捗により、衛生費は2,627,994千円、49.9%の増
- 新庁舎、新消防庁舎整備完了の一方、総務費、消防費における維持管理経費は増

予備費 50,000

災害復旧費 45,802

議会費 417,052

商工費 893,044

農林水産業費
872,669

59,290,000千円

消防費 4,113,549

衛生費 5,270,254

公債費 4,810,564

総務費 5,634,848

教育費 9,750,495

土木費 9,860,860

民生費 17,570,863

予備費 50,000

災害復旧費 13,943

議会費 373,185

商工費 902,164

農林水産業費
689,210

57,480,000千円

消防費 1,832,872

衛生費 7,898,248

公債費 4,941,472

総務費 5,018,961

教育費 8,653,391

土木費 8,174,072

民生費 18,932,482

	対前年度	増減額	増減率
●総務費		▲ 615,887千円	▲ 10.9%
【増加】	ふるさと土浦応援寄付金事業		
【減少】	新庁舎整備事業		
●民生費		1,361,619千円	7.7%
【増加】	障害者自立支援給付事業, 臨時福祉給付金事業		
【減少】	私立認定こども園運営事業, 子育て世帯臨時特例給付金事業		
●衛生費		2,627,994千円	49.9%
【増加】	ごみ焼却施設整備事業, 市営斎場整備事業		
【減少】	ごみ焼却施設維持管理事業		
●農林水産業費		▲ 183,459千円	▲ 21.0%
【増加】	担い手確保及び農地集積化事業		
【減少】	公設地方卸売市場繰出金		
●土木費		▲ 1,686,788千円	▲ 17.1%
【増加】	土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計繰出金		
【減少】	土浦駅西口広場等整備関連事業, 亀城モール整備事業 真鍋神林線延伸道路整備事業		
●消防費		▲ 2,280,677千円	▲ 55.4%
【増加】	常備消防車両更新事業		
【減少】	新消防庁舎整備事業		
●教育費		▲ 1,097,104千円	▲ 11.3%
【増加】	川口運動公園野球場整備事業, 新治地区小中一貫教育 学校整備事業		
【減少】	水郷プール再整備事業, 都和小学校校舎改築事業		

平成27年度

平成28年度

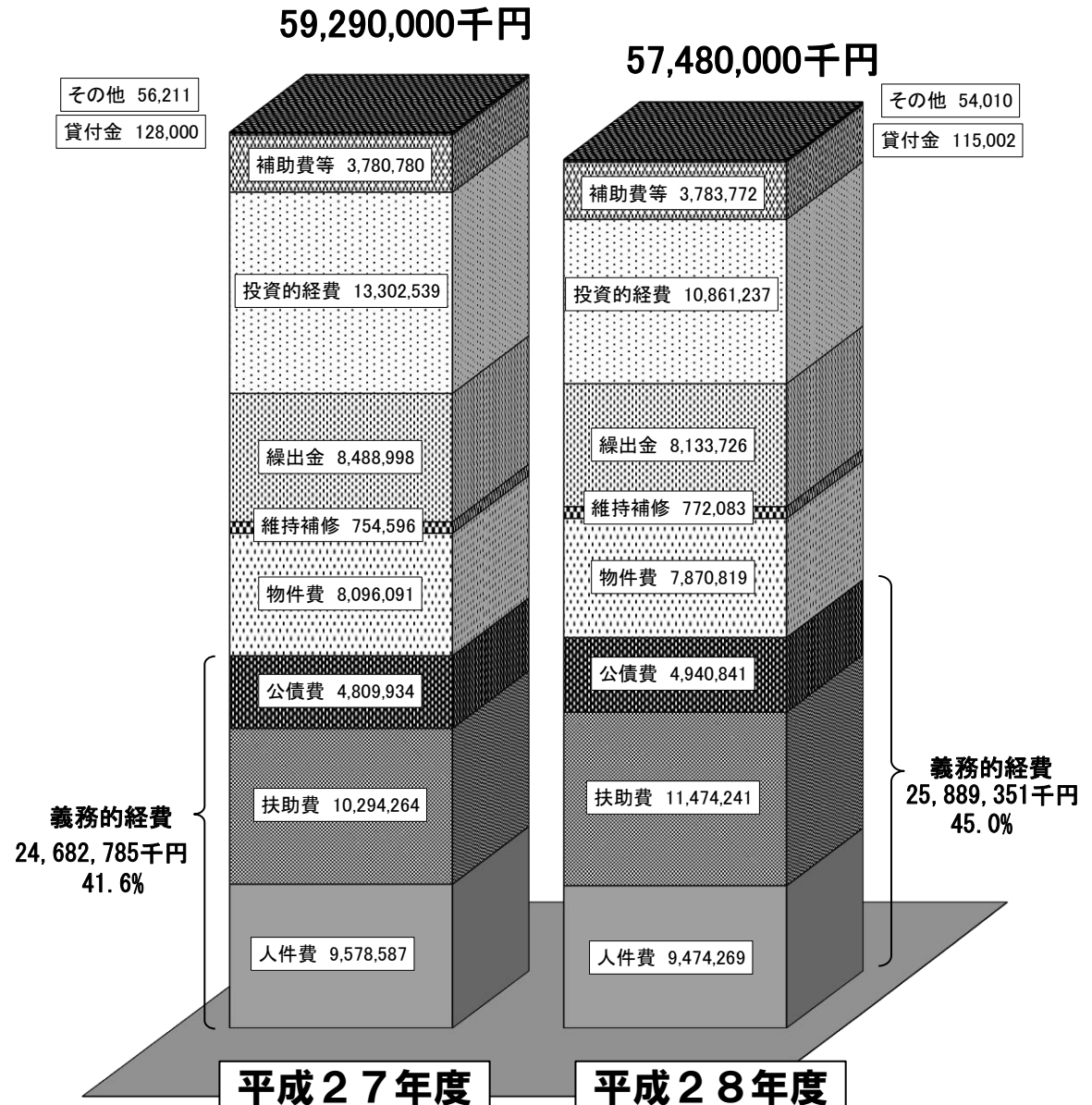
(3) 歳出予算性質別の概要

57,480,000千円 対前年度
▲ 1,810,000千円 ▲ 3.1%

○人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費は、主に扶助費の増により1,206,566千円、4.9%の増

○ごみ焼却施設更新、川口運動公園野球場整備などの施設整備事業が本格的に着工するが、新消防庁舎整備事業等の大型事業の完了により、投資的経費は▲2,441,302千円、18.4%の減

	対前年度	増減額	増減率
●人件費		▲ 104,318千円	▲ 1.1%
【減少】職員給与, 委員等報酬			
●扶助費		1,179,977千円	11.5%
【増加】障害者自立支援給付事業, 臨時福祉給付金事業 私立保育園運営事業			
【減少】私立認定こども園運営事業			
●物件費		▲ 225,272千円	▲ 2.8%
【増加】ごみ処理対策事業			
【減少】新庁舎整備事業, 新消防庁舎整備事業			
●繰出金		▲ 355,272千円	▲ 4.2%
【増加】国民健康保険特別会計繰出金			
【減少】土浦駅北再開発事業特別会計繰出金			
●投資的経費		▲ 2,441,302千円	▲ 18.4%
【増加】ごみ焼却施設整備事業, 川口運動公園野球場整備事業			
【減少】新消防庁舎整備事業, 水郷プール再整備事業 都和小学校校舎改築事業			
●補助費等		2,992千円	0.1%
【減少】消防救急無線のデジタル化等共同整備事業			

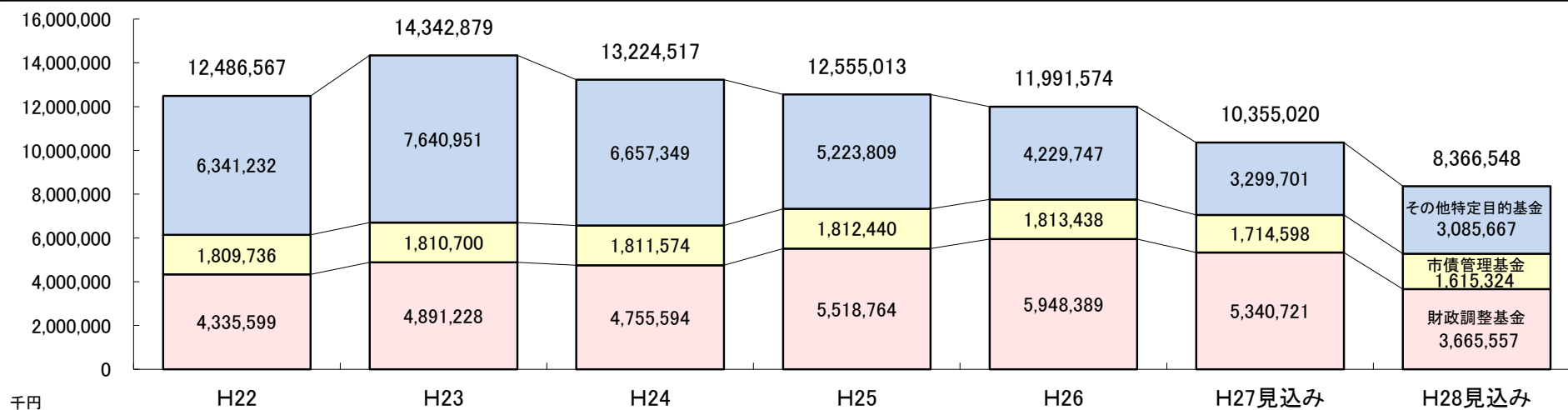


9. 各種基金の状況



(単位: 千円)

区 分	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末 見込み A	平成28年度 積立見込額 B	平成28年度 取崩見込額 C	平成28年度末 見込み (A+B-C)
財 政 調 整 基 金	4,755,594	5,518,764	5,948,389	5,340,721	2,894	1,678,058	3,665,557
うち復興まちづくり交付金分	126,961	21,597	0	0	0	0	0
うち復旧復興寄付金分	122,231	122,262	101,354	0	0	0	0
うち防災対策交付金分	27,883	27,800	0	0	0	0	0
市 債 管 理 基 金	1,811,574	1,812,440	1,813,438	1,714,598	726	100,000	1,615,324
そ の 他 特 定 目 的 基 金	6,657,349	5,223,809	4,229,747	3,299,701	927	214,961	3,085,667
庁 舎 建 設 基 金	4,259,568	4,116,828	2,176,302	0	0	0	0
公 社 対 策 基 金	1,431,638	3,949	3,950	3,951	1	0	3,952
社 会 福 祉 事 業 基 金	677,213	671,681	658,261	658,417	164	19,413	639,168
文 化 振 興 基 金	284,979	263,907	234,488	227,364	56	21,210	206,210
奨 学 基 金	3,951	16,139	12,545	8,606	11	3,948	4,669
協働のまちづくり基金	-	151,305	144,201	279,324	172	17,100	262,396
合 併 振 興 基 金	-	-	1,000,000	2,122,039	523	153,290	1,969,272
基 金 総 計	13,224,517	12,555,013	11,991,574	10,355,020	4,547	1,993,019	8,366,548
土 地 開 発 基 金	2,451,416	2,452,931	2,454,530	2,456,425	554,250	553,022	2,457,653
う ち 土 地	841,193	997,482	678,202	541,383	553,022	0	1,094,405
う ち 現 金	1,610,223	1,455,449	1,776,328	1,915,042	1,228	553,022	1,363,248



平成28年度は、財政調整基金を1,678,058千円、平成26年度に新設した合併振興基金を153,290千円活用し、また、昨年度に引続き公債費負担軽減のために市債管理基金を100,000千円活用します。これにより、平成28年度基金総額（土地開発基金を除く）は、8,366,548千円、対前年度1,988,472千円、19.2%の減となる見込みです。

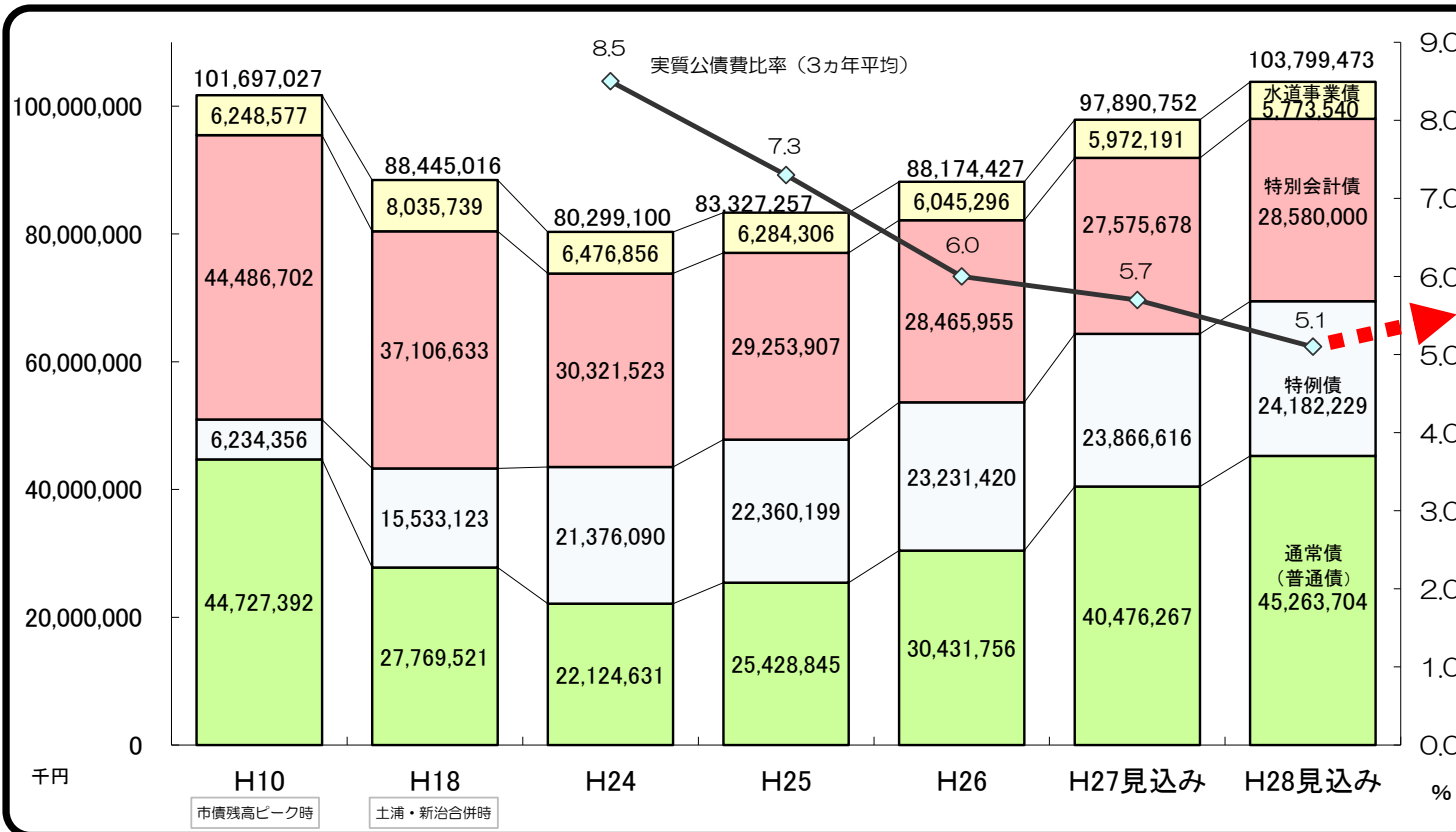
※上記基金には、特別会計基金や用品調達基金を含まない。

10. 市債の状況



(単位:千円)

区 分	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末 見込み A	平成28年度 発行見込額 B	平成28年度 元金償還見込額 C	平成28年度末 見込み (A+B-C)
1 通常債(普通債)	22,124,631	25,428,845	30,431,756	40,476,267	7,526,786	2,739,349	45,263,704
うち合併特例債	2,837,560	4,157,230	7,975,000	13,569,419	2,197,300	368,212	15,398,507
2 特 例 債	21,376,090	22,360,199	23,231,420	23,866,616	2,065,480	1,749,867	24,182,229
3 特別会計債	30,321,523	29,253,907	28,465,955	27,575,678	3,236,700	2,232,378	28,580,000
4 水道事業債	6,476,856	6,284,306	6,045,296	5,972,191	200,000	398,651	5,773,540
市債残高総計	80,299,100	83,327,257	88,174,427	97,890,752	13,028,966	7,120,245	103,799,473



対H27残高 5,908,721千円
+6.0%

H28発行通常債のうち
合併特例債の内訳

事業名	起債額
市営斎場整備事業	2,197,300
新図書館施設 整備事業	0
美術品展示室 整備事業	0
計	2,197,300

※新図書館施設整備事業、美術品
展示室整備事業はH29発行予定

H18~27既発債総額 (発行予定含む)	13,827,600
-------------------------	------------

平成28年度は、市営斎場整備事業の合併特例債を始め、全会計で13,028,966千円の市債を発行する予定です。
市債発行額が元金償還額を上回るため、平成28年度末市債残高見込みは103,799,473千円で、平成27年度末見込みと比較すると5,908,721千円、6.0%の増となる見込みです。 ※平成10年度は、旧新治村分を含んだ市債残高です。

主要事業の概要

一般会計

4月1日 金曜日



款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

土浦市総合計画策定事業

(新規)

担当 市長公室
政策企画課

予算額			3,420	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度～平成29年度		全体事業費
		地方債		施策の大綱			13,626
		その他		施策名			
	一般財源		3,420	施策の内容			

事業の目的

第7次土浦市総合計画の計画期間が平成29年度に終了するため、社会経済情勢等の変化を踏まえ、現計画の成果を検証し、市民の意向を把握した上で、平成30年度を初年度とし、今後10年間の市政運営の指針とする第8次土浦市総合計画を平成28年度から2か年で策定します。

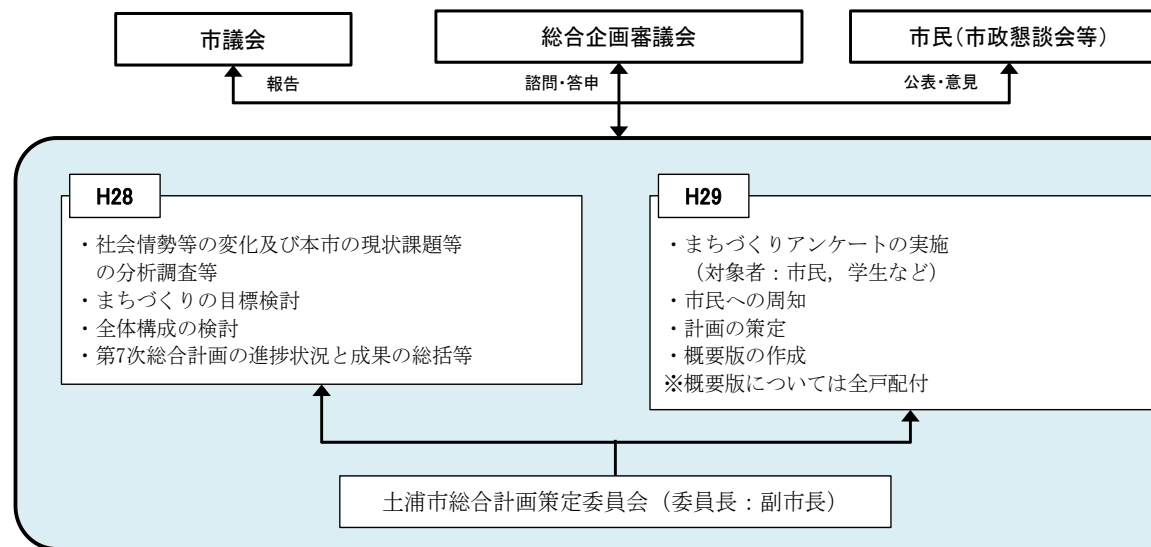
事業の概要

【今年度事業内容】

- ・現状課題等の分析調査等
- ・全体構成の検討
- ・第7次総合計画の総括等
- ・まちづくりの目標（基本理念・将来都市像）

【今後の予定】

- ・まちづくりアンケートの実施
- ・市民への周知
- ・計画の策定
- ・概要版の作成



期待される効果・成果目標等

総合計画は、長期的展望の下、本市の目指すべき将来の姿とそれを実現するための施策の方向を明らかにし、総合的かつ計画的な市政運営のための指針として、また、各施策や事業を展開する上での基本となります。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

シティプロモーション推進事業

(継続)

担当 市長公室
政策企画課

予算額			8,000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	8,000
		地方債		施策の大綱	1－2 市民と行政が一体となった協働のまちづくり		
		その他		施策名	4 行政の透明化を進める情報提供の推進		
	一般財源		8,000	施策の内容	2 広報活動の充実とイメージアップの推進		

事業の目的

土浦の様々な魅力を認識、増進させ、その魅力を戦略的かつ効果的に発信する「シティプロモーション」を推進し、市民の郷土に対する愛着や誇りを高めることで、土浦に来ていただく「交流人口」、土浦に住み続ける「定住人口」の増加を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 基礎調査を実施

平成27年度 戦略プランの策定、専用ホームページの構築、PR映像の作成、メールマガジンの改修、PR誌の作成、山手線中吊り広告出稿、都内でのシティプロモーションイベントの実施

【今年度事業内容】

PR誌やガイドブックの作成、ホームページ維持管理、土浦の魅力情報を発信するつちレポの運営（情報交換）、つちまるを活用したPR（ご当地キャライベント）事業を実施します。

【今後の予定】

市民や企業と協力し、交流人口や定住人口の増加を図るため、ターゲットに向けた情報発信を繰り返していきます。



PR誌（つちうら暮らし）

期待される効果・成果目標等

土浦の認知度や好感度の向上、来訪者数の増加、新たな活力の創出といった効果が期待でき、土浦のブランド意識が高まることで、まちの熟成や地域の活性化を図り、市民の郷土心が更に向上するという相乗効果につながることを期待できます。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

ふるさと土浦応援寄付事業

(拡大)

担当 市長公室
政策企画課

予算額			98,179	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	98,179
		地方債		施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 健全な財政運営の確保		
	一般財源		98,179	施策の内容	1 歳入確保の取組		

事業の目的

ふるさと納税は、税制改正に伴う特例控除の上限の拡充やワンストップ特例制度の創設により広く認知されるようになりました。本市においても、今後、「ふるさと土浦応援寄付」を頂いた方への返礼品を拡充することにより、寄付金額を増やすとともに、地元の特産品等を広くPRします。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成20年度 ふるさと応援寄付事業開始

平成27年度 寄付者に返礼品を送付する事業を開始

【今年度事業内容】

引き続き返礼品の拡充と本市のふるさと納税のPRを図っていきます。

【今後の予定】

特産品等の返礼品の充実と寄付しやすい環境の整備を図り、寄付金額の増加を目指します。



返礼品の例

期待される効果・成果目標等

寄付者の利便性の向上や返礼品の拡充により、更なる財源確保を図るとともに、地元の特産品等の新たな販路拡大などを通して地域の活性化につなげることができます。

款	総務費・土木費	項	総務管理費・道路橋梁費・都市計画費
---	---------	---	-------------------

水郷筑波サイクリング環境整備事業

(新規)

担当 市長公室
政策企画課

予算額			8,285	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	8,285
		地方債		施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		8,285	施策の内容	4 自転車道の整備		

事業の目的

つくばりんりんロードと霞ヶ浦湖岸一周を一体とした(仮称)水郷筑波サイクリングコースにおいて、沿線自治体と連携し、利用者にとって走りやすい環境を整備することで、サイクリングを通じた交流人口の増加と地域活性化を図ります。

事業の概要

◎水郷筑波サイクリング環境整備事業

- 【今年度事業内容】 コース全体で統一したデザインのコース案内や標識を設置するとともに、幹線道路がコースとなっていることから、新たなコースを整備することにより、安全で快適な自転車走行空間を構築します。
- ・道路新設改良工事 L=275m (川口2丁目地内)
 - ・コース案内看板、警戒標示看板及び路面標示の設置

- 【今後の予定】 引き続きコース案内や観光案内看板を設置し、環境整備を図ります。

◎広域レンタサイクル乗捨てシステム事業

- 【今年度事業内容】 県及び沿線自治体7市で構成する実行委員会を組織し、日本初の広域レンタサイクル乗捨てシステムを構築します。

- 【今後の予定】 関係自治体と連携して、県内外に広くPRを図っていきます。



霞ヶ浦一周サイクリング大会

期待される効果・成果目標等

都心からも近く、おおむね平坦で豊かな自然環境を有しているサイクリングコースを新たな観光ツールとして位置付け、環境整備とPRを行うことで交流人口が拡大し、地域経済の活性化が期待できます。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

地域公民館整備事業

(継続)

担当 市民生活部
市民活動課

予算額			68,620	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	68,620
		地方債		施策の大綱	1-2 市民と行政が一体となった協働のまちづくり		
		その他		施策名	2 心豊かな生活を営めるコミュニティの形成		
	一般財源		68,620	施策の内容	4 コミュニティ施設の整備		

事業の目的

町内会（自治会）住民の地域活動や交流の拠点となる地域コミュニティ施設の新築等に要する経費の補助を行うことにより、地域住民の連帯感及びコミュニティ意識の高揚を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成13年度より、教育委員会所管の地域公民館設置等補助金及び児童公民館補助金交付要綱を廃止・統合し「地域コミュニティ施設新築等補助金交付要綱」を創設し、補助を行っています。

平成13年度～平成27年度の実績 新築・改築 31件 増築・修繕 29件

【今年度事業内容】

新築関係 3件 補助金額 48,330千円

中神立町公民館，烏山公民館，中村南一丁目公民館

修繕関係 7件 補助金額 20,290千円

中都町農村集落センター，荒川沖南区児童公民館，北荒川沖町公民館，大志戸担い手センター

永井集落センター，中荒川沖町公民館，中央一丁目公民館

【今後の予定】

集会施設を所有していない町内会が6町内会，建築後35年を経過する公民館が58館あり，各町内会からの要望増加が予想されます。

期待される効果・成果目標等

地域公民館を拠点として，地域の連帯感及びコミュニティ意識が醸成され，更なる地域コミュニティの活性化に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

防犯対策事業

(継続)

担当 市民生活部
生活安全課

予算額		40,123	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成28年度	全体事業費	40,123
		地方債	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他	施策名	2 地域ぐるみで取り組む防犯まちづくり		
	一般財源	40,123	施策の内容	1 安心・安全な地域づくり		

事業の目的

安心で安全な明るいまちの実現を図るため、安全な生活環境整備に取り組むことにより、地域における犯罪を未然に防止します。

事業の概要

- ◎防犯灯設置補助：町内会等が実施する防犯灯の設置等に要する経費の一部を支援し、夜間における犯罪や事故等を未然に防止します。
- 【これまでの経緯】町内会等及び本市の防犯灯に係る電気料金などの経費を削減し、併せて市域における温室効果ガスの排出量削減による環境負荷の軽減を図るため、平成26年度から補助額を増額するなどし、長寿命・省電力であるLED防犯灯への移行を推進しています。
- 【今年度事業内容】新設LED防犯灯：30,000円×150基
交換LED防犯灯：20,000円×1,750基 計39,500千円
- 【今後の予定】LED防犯灯への全灯移行を推進します。
- ◎防犯カメラ整備：人の目による防犯活動を補い、犯罪等の発生を抑止します。
- 【これまでの経緯】駅など不特定多数の人が利用する公共の場所に38台の防犯カメラを設置し、現在運用しています。
- 【今年度事業内容】既存カメラの記録媒体交換（10年経過分：4台） 計623千円
- 【今後の予定】順次、交換時期に至った機材を適切なタイミングで更新していきます。



LED防犯灯



防犯カメラ

期待される効果・成果目標等

各事業の実施による適切な防犯環境の整備と効果的な利用により、犯罪の発生機会を減らすだけでなく市民の犯罪に対する不安を軽減することで、安心・安全なまちづくりを推進していきます。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

地域防災対策整備事業

(継続)

担当	総務部 総務課
----	------------

予算額			110,228	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	27,241	事業期間	平成28年度	全体事業費	110,228
		地方債	70,200	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
	一般財源		12,787	施策の内容	4 防災施設・設備の充実強化		

事業の目的

東日本大震災や近年多発する異常気象による災害を教訓とし、市民の生命・身体及び財産を災害から保護するとともに、予想される首都直下地震等の災害に備えて、防災・減災対策を引き続き進めます。

事業の概要

東日本大震災を教訓に、地域防災計画の見直しを始め、避難所における防災資機材の備蓄や、MCA無線・テレビアンテナ等の通信・連絡手段の整備、さらには、災害時における給水対策の向上など、減災に資する施策を進めています。

【今年度事業内容】

◎新治地区防災無線更新整備事業

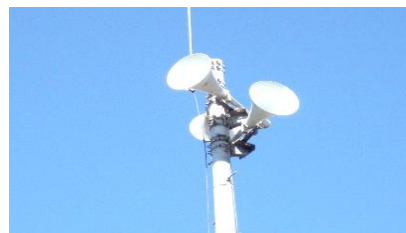
新治地区防災無線のデジタル化口
工事を進めます。

〔予算額：97,520千円〕

全体事業費：243,800千円（平成28・29年度継続費）

◎非常食・ペットボトル飲料水備蓄

〔予算額：1,200千円〕



◎町内会防災井戸整備補助

〔予算額：9,900千円〕

◎中学校防災井戸浄水装置

保守点検〔予算額：1,540千円〕



◎県防災情報ネットワークシステム

更新整備事業〔予算額：68千円〕

【今後の予定】

非常食・ペットボトル飲料水については、賞味期限を考慮し計画的な備蓄に努めます。

期待される効果・成果目標等

防災・減災対策に取り組むことによって、一人ひとりが災害を意識することはもとより、地域コミュニティの醸成や、安心・安全なまちづくりの推進が期待されます。市民との協働により、災害被害「0（ゼロ）」を目指します。

款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費
---	-----	---	-----------

出生届・婚姻届お祝いシート発行事業

(新規)

担当	市民生活部 市民課
----	--------------

予算額			474		(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度 ～	全体事業費	474
		地方債		施策の大綱	1－1 行財政改革の推進と市民サービスの向上		
		その他		施策名	6 市民ニーズに対応したサービスの提供		
		一般財源	474	施策の内容	1 窓口サービスの向上		

事業の目的

本市に出生届及び婚姻届を提出する方を祝福し、出産・結婚の気運を醸成するとともに、大切な記念日を一生の思い出として残していただけるよう出生届・婚姻届お祝いシートをプレゼントすることにより、行政サービスの向上を図ります。

事業の概要

【事業内容】

本市に提出される出生届及び婚姻届にイメージキャラクター「つちまる」デザイン入りお祝いメッセージを添えてコピーし、「お祝いシート」として出生届・婚姻届ファイルに入れてプレゼントします。

◎対象者

「出生届」「婚姻届」を本市に提出する方

◎受付窓口及び受付時間

本庁舎市民課及び各支所・出張所（平日 午前8時30分～午後5時15分）

◎実施時期 平成28年10月予定



お祝いシートイメージ

期待される効果・成果目標等

本市を大切な記念の場所として記憶に残していただくとともに、出産・結婚の気運醸成を図ります。

款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費
---	-----	---	-----------

証明書コンビニ交付事業

(継続)

担当 市民生活部
市民課

予算額			5,333	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	5,333
		地方債		施策の大綱	1-1 行財政改革の推進と市民サービスの向上		
		その他	137	施策名	6 市民ニーズに対応したサービスの提供		
	一般財源		5,196	施策の内容	1 窓口サービスの向上		

事業の目的

個人番号カードを利用して、本市の市民が全国のコンビニエンスストア等で住民票の写しや印鑑登録証明書、税証明書を取得できるようにすることで、市民サービスの向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

住民の利便性の向上と事務の効率化につながる証明書のコンビニ交付を導入する自治体が増えている中、本市においては、平成28年4月1日の事業開始に向け、平成27年度に証明書コンビニ交付システムの構築等を行い、準備を進めてきました。

【今年度事業内容】

- 事業に要する経費
 - コンビニ交付システム管理委託料 2,333千円
 - コンビニ交付市町村負担金 3,000千円

2. 事業の概要

- ①事業の開始年月日：平成28年4月1日
- ②交付場所：本市指定のコンビニエンスストア等
- ③利用時間：午前6時30分～午後11時00分（12月29日～1月3日を除く）
- ④コンビニ交付手数料：1通につき200円
- ⑤取得に必要なもの：個人番号カード及び暗証番号
- ⑥取得できる証明書：住民票、印鑑登録証明書、課税・非課税証明書、所得証明書

【今後の予定】 コンビニ交付参加事業者の拡大に伴って、事業者の新規指定により市民サービスの充実を図ります。



期待される効果・成果目標等

コンビニ交付では、本市指定のコンビニエンスストア等の全国およそ48,000店舗で証明書を取得できるようになるほか、利用できる時間も窓口交付より長くなるため、市民の利便性が高まります。

また、コンビニ交付の普及に伴って窓口業務の負担軽減とコスト低減が期待できます。

款	民生費	項	社会福祉費
---	-----	---	-------

軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業

(新規)

担当

保健福祉部
障害福祉課

予算額			180	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	90	事業期間	平成28年度	全体事業費	180
		地方債		施策の大綱	2－4 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
		その他		施策名	3 自立と社会参加を促進する障害者福祉の充実		
	一般財源		90	施策の内容	3 総合的な障害福祉サービスの提供		

事業の目的

市内在住で身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児童に対して、補聴器購入に必要な費用の一部を助成することにより、言語の習得や教育等における健全な発達を支援します。

事業の概要

【今年度事業内容】

本市に居住する児童で身体障害者手帳の交付対象とならないもののうち以下の要件に該当する者に対して、補聴器を購入する費用の一部を助成します。

- ・両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満である者
- ・身体障害者福祉法第15条第1項に規定する医師から補聴器を装用することで一定の効果が期待できるとの判断を受けた者

【今後の予定】

身体障害者手帳の交付対象とはならないが、軽度・中等度の難聴を抱える児童に対して、補聴器の購入を助成し、コミュニケーション支援を進めることで、難聴児のより積極的な学業への参加や社会生活を可能にし、コミュニケーション障害による孤立化を防止します。

期待される効果・成果目標等

本事業により、今後、身体障害者手帳の有無にかかわらず、難聴児の発育段階における言語訓練や生活適応訓練が促進されることが期待できます。

款	民生費	項	社会福祉費
---	-----	---	-------

生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）

（新規）

担当	保健福祉部 社会福祉課
----	----------------

予算額			2,784	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	1,392	事業期間	平成28年度	全体事業費	2,784
		地方債		施策の大綱	2-4 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
		その他		施策名	5 市民生活のセーフティネットとしての社会保障制度の適正な運営		
	一般財源		1,392	施策の内容	4 生活保護		

事業の目的

「子どもの貧困」や「貧困の連鎖」が社会問題となっている中、生活困窮状態にある世帯の子どもを対象に、学習支援や子どもの進学についての助言を行い、子どもの学習習慣・生活習慣の確立や学習意欲の向上を支援し、貧困の連鎖を防止します。

事業の概要

【今年度事業内容】

自立相談支援事業、住居確保給付金の事業に加え、生活困窮状態にある世帯の子どもを対象とした学習支援事業に取り組みます。

◎学習支援事業

- ①対象者：生活保護世帯、ひとり親世帯、準要保護世帯で経済的に塾に通えない子ども（小学4年生～6年生）
- ②詳細内容：子どもへの学習指導（4教科 国・算・社・理）
子どもたちの日常生活習慣の形成、社会性の育成のための支援を行います。
- ③場 所：市内3か所に教室を設置（北方面、中心部、南方面）
- ④利用料：無料
- ⑤スタッフ：学習支援員、学習指導ボランティア

【今後の予定】

対象となる子どもの多くが利用できるように、教室の拡充を図ります。

期待される効果・成果目標等

子どもの将来が、生まれ育った環境によって左右されることのないよう、生活困窮状態にある世帯の子どもの学習環境を向上させることにより、貧困が親から子へ世代を超えて連鎖するのを防止します。

款	民生費	項	児童福祉費
---	-----	---	-------

私立保育園整備事業

(新規)

担当

保健福祉部
こども福祉課

予算額			6,480	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	4,320	事業期間	平成28年度	全体事業費	6,480
		地方債		施策の大綱	2－4 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 安心して産み育てられる子ども福祉の充実		
	一般財源		2,160	施策の内容	1 地域における子育て支援の充実		

事業の目的

私立保育園の整備（新設、改築等）に要する経費の一部を補助することにより、保育施設の体制整備を図るとともに、子ども・子育て支援のより一層の充実を目指します。

事業の概要

【今年度事業内容】

私立保育園において、病後児保育を開始するために必要となる施設の改築経費の一部を補助します。

◎補助対象施設：社会福祉法人土浦愛隣会 ^{カナ}愛保育園 土浦市中村南一丁目14番11号

◎補助基準額：施設改築工事費 8,640千円×3/4＝6,480千円

(負担割合：国1/2，市1/4，私立保育園1/4)

病後児保育とは・・・

児童が病気の回復期にあつて集団保育が困難であり、かつ、保護者がやむを得ない事情により家庭で保育ができないときに、その児童を保育園等において一時的に預るものです。



^{カナ}愛保育園

【今後の予定】

病後児保育対応施設は、本市内で2か所目となります。今後も、市民のニーズを踏まえた上で、体制整備を進めていきます。

期待される効果・成果目標等

病後児保育を必要とする子育て家庭に対応した、きめ細かい保育施策を展開することにより、子ども・子育て支援のより一層の充実が期待できます。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

市民による市民のための健康減量教室事業

(新規)

担当 保健福祉部
健康増進課

予算額			1,241	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	613	事業期間	平成28年度	全体事業費	1,241
		地方債		施策の大綱	2-4 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
		その他		施策名	6 健康で生きがいのある生活を支える保健・医療の充実		
	一般財源		628	施策の内容	1 健康づくりの推進		

事業の目的

第2次健康つちうら21（土浦市健康増進計画・食育推進計画）に基づき、筑波大学と連携し、健康減量教室を住民主導型で開催します。

事業の概要

【今年度事業内容】

- ◎「市民公開講座」を開催し、健康減量教室の指導者となる市民（ダイエットリーダー）及び教室参加者を募集します。
- ◎「ダイエットリーダー養成講習会」（地区公民館、6回コース）を開催し、教室の指導者となる市民を養成します。
- ◎ダイエットリーダーとなった市民が健康減量教室（地区公民館、8回コース）を運営し、参加者が健康的に体重を減らせるよう支援します。
- ◎事業の効果を検証し、地域における定着、一層の普及展開を目指します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	ダイエットリーダー養成講習会講師謝礼等	290
需用費	養成講習会、健康減量教室教材費	233
委託料	健康減量教室運営委託料、事業評価委託料等	718
合 計		1,241



指導用教材

期待される効果・成果目標等

市民が減量（適正体重維持）に関する正しい知識を身につけるとともに、市民自らが指導者となって運営する健康減量教室を展開することにより、地域全体で健康意識の向上と市民の健康増進を図ります。

款	衛生費	項	環境衛生費
---	-----	---	-------

市営斎場整備事業 《合併特例債事業》

(継続)

担当 市民生活部
環境衛生課

予算額			2, 353, 450	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成22年度 ～ 平成28年度	全体事業費	4, 106, 146
		地方債	2, 197, 300	施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	4 環境美化と環境衛生の推進		
		一般財源	156, 150	施策の内容	2 市営斎場の整備		

事業の目的

老朽化・狭あい化した市営斎場を建て替えることにより、都市施設の機能更新と一層の利便性の向上を図ります。また、建物の供用開始に合わせて指定管理者制度を導入し、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより住民サービスの向上に努めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成22年度：土浦市営斎場施設更新基本計画策定

平成26年度：建築主体工事・設備工事（電気・空調・給排水衛生・ガス）に着手

平成27年度：設備工事（火葬炉・太陽光発電）・予約案内システム委託に着手

【今年度事業内容】

◎市営斎場整備

建築主体工事（3期目）、外構工事、工事監理委託等 合計 2, 344, 141千円

◎指定管理者委託

委託業務内容：火葬、施設の維持管理、利用料金の徴収等

委託期間：平成28年10月～平成33年3月（4年6カ月） 指定管理料：9, 309千円（平成28年10月～平成29年3月）

【今後の予定】

平成28年10月に建物の供用を開始し、その後、既設火葬棟や仮設待合室の解体を行います。平成29年3月までに外構工事を含む全ての工事が完了します。



新市営斎場完成予想鳥かん図

期待される効果・成果目標等

今後、火葬件数の増加が見込まれる斎場において、人生終えんの場にふさわしい、人と環境に配慮した施設を整備し、また、民間能力を活用することで、より効果的・効率的な施設の運営管理が期待でき、利用者の利便性の向上を図ります。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

一般廃棄物有料化事業

(新規)

担当 市民生活部
環境衛生課

予算額			600	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度～平成30年度	全体事業費	74,614
		地方債		施策の大綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	3 ごみ処理の適正化とリサイクルの推進		
	一般財源		600	施策の内容	1 廃棄物等の発生及び排出抑制の推進		

事業の目的

各家庭から集積場に排出される可燃ごみ、不燃ごみの処理を有料化することにより、一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進を図り、循環型社会づくりを推進します。

事業の概要

【今年度事業内容】

- ・制度設計（手数料の料金、免除対象、手数料徴収の方法等）
- ・第2次土浦市ごみ処理基本計画への位置付け
- ・土浦市廃棄物減量等審議会等での審議や意見聴取
- ・関連部局（福祉等）との調整
- ・住民説明会の開催
- ・リーフレットの作成

(単位：千円)

項目	内容	事業費
需用費	説明会時飲み物代	80
	リーフレット印刷代	520
合計		600

【今後の予定】

平成29年度

- ・パブリックコメントの実施
- ・条例改正（手数料の改正）
- ・住民説明会の開催



平成30年度

- ・有料化実施（予定）
- ・指定ごみ袋作成
- ・手数料徴収業務委託
- ・住民説明会の開催

期待される効果・成果目標等

一般廃棄物の有料化による、ごみの排出抑制、リサイクルの推進等、ごみに対する住民意識改革を通じ、増加傾向にある処理費用の抑制が可能となり、また、排出量に応じた費用負担の公平化を図ります。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

生ごみ及びプラスチック製容器包装分別収集事業（継続）

担当	市民生活部 環境衛生課
----	----------------

予算額		385, 047	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成28年度	全体事業費	385, 047
		地方債	施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他	施策名	3 ごみ処理の適正化とリサイクルの推進		
		一般財源	施策の内容	2 資源物のリサイクル推進の強化		

事業の目的

第2次土浦市ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、可燃ごみの中から生ごみとプラスチック製容器包装を分別収集し、更なるごみの減量化及びリサイクルを推進するとともに、CO₂ 排出削減による地球温暖化防止及びごみ処理施設の延命化を図ります。

事業の概要

生ごみ分別収集については、家庭から排出された食品由来のごみを有来の可燃ごみから分けて回収し、民間処理施設にてメタン発酵処理後、ガスと堆肥にリサイクルします。

プラスチック製容器包装分別収集については、家庭から排出された容器等のプラスチックごみを従来の可燃ごみから分けて回収し、容器包装リサイクル法に基づき、民間処理施設での中間処理後、再生処理事業者によりリサイクルされます。また、中間処理で選別された不適物については、固形燃料（RPF）とし、リサイクルします。

【これまでの経緯】

平成 8年度：（旧新治地区）プラスチック製容器包装分別収集実施

平成13年度：（旧土浦地区）プラスチック製容器包装分別収集モデル事業実施

平成21年度：土浦市バイオマスタウン構想策定

平成23年度：第2次土浦市ごみ処理基本計画策定（分別収集の実施を位置付け）

平成24年度：生ごみ分別収集モデル事業実施

平成27年度：生ごみ・プラスチック製容器包装の分別収集を全市域で実施

【今年度事業内容】

全市域での分別収集実施後の収集実績等の検証を踏まえ、分別収集の推進によるリサイクルの向上を図ります。

◎生ごみ分別収集事業

(単位：千円)

科目	概要	予算額
委託料	処理委託料	142,979
	収集運搬委託料	169,751
需用費	集積場看板作製 他	1,021
合 計		313,751

◎生ごみのリサイクル



生ごみ分別収集



リサイクル施設で処理



メタンガスと堆肥にリサイクル

◎プラスチック製容器包装分別収集事業

(単位：千円)

科目	概要	予算額
委託料	圧縮保管委託料	30,000
	再商品化委託料	378
	収集運搬委託料	40,918
合 計		71,296

◎プラスチック製容器包装のリサイクル



《収集運搬》



《選別・圧縮保管》



(適合物)

(残渣物)



《再資源化》



プラスチック製品・高炉還元剤・化学原料等



RPF（固形燃料）

【今後の予定】

周知・啓発により市民の分別への理解を深め、更なる可燃ごみ減量と資源リサイクルを図ります。

期待される効果・成果目標等

生ごみ等の分別収集の実施により、更なるごみの減量化及び再資源化が図られます。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

第2次土浦市ごみ処理基本計画(後期計画)策定事業 (新規)

担当	市民生活部 環境衛生課
----	----------------

予算額			3,845	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	3,845
		地方債		施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	3 ごみ処理の適正化とリサイクルの推進		
	一般財源		3,845	施策の内容	3 安全かつ適正な処理体制の確立		

事業の目的

平成24年度策定の第2次土浦市ごみ処理基本計画で掲げた数値目標や重点施策などについての達成度や各々の取組の進捗状況を踏まえて、平成29年度以降の後期計画を策定します。

循環型社会の構築を目指して更なるごみの減量化と再資源化を推進することにより、ごみ排出量及び処理経費の削減を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

第2次土浦市ごみ処理基本計画策定業務委託(3,197千円)

数値目標の見直し、重点施策の見直し(ごみ処理有料化、新治地区のごみ処理の一元化等)を含めた第2次ごみ処理基本計画(後期計画)の策定

土浦市廃棄物減量等審議会の開催(5回)

審議会委員報酬等(638千円)

【事業スケジュール】

大項目	内容	平成28年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画	審議会での意見収集・審議				(諮問)								(答申)
計画	アンケート調査			(集計)									
計画	後期計画策定	(後期計画策定委託)									(3月策定)		
手続	パブリックコメント(計画)							(1月上旬：議員パブコメ説明)			(1月中旬：パブコメ実施)		

期待される効果・成果目標等

後期計画に位置付けられた市・市民・事業所が目標達成のためそれぞれの役割を担うことにより、ごみの排出量及び処理経費の削減に寄与します。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

ごみ焼却施設整備事業

(継続)

担当	市民生活部 環境衛生課
----	----------------

予算額			1, 616, 751	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	294, 436	事業期間	平成24年度 ～ 平成30年度	全体事業費	6, 112, 878
		地方債	351, 400	施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	3 ごみ処理の適正化とリサイクルの推進		
	一般財源		970, 915	施策の内容	7 施設の延命化対策		

事業の目的

ごみ焼却施設である清掃センターは、平成4年4月稼働後24年を経過し、経年劣化が進み、機能の低下が見受けられるため、長寿命化計画に基づき基幹的設備改良工事を行い、平成48年度までの延命化を図ります。

事業の概要

清掃センター基幹的設備改良事業（焼却炉改修 3炉）

【これまでの経緯】

- ・平成24年度：基本設計
- ・平成25年度：生活環境影響調査及び基本設計
- ・平成26年度：発注仕様書作成
- ・平成27年度：実施設計

【今年度事業内容】

- ・基幹的設備改良工事（3号焼却炉改修） 1,348,650 千円
- ・基幹的設備改良工事に係る施工監理 3,260 千円
- ・焼却炉改修に伴う焼却処分できないごみの外部処理委託 264,543 千円
- ・その他事務費（旅費） 298 千円



清掃センター外観

【今後の予定】

- ・平成29年度：基幹的設備改良工事及び施工監理（2号焼却炉改修）：2,227,740千円、外部処理委託：182,427千円 計：2,410,167千円
- ・平成30年度：基幹的設備改良工事及び施工監理（1号焼却炉改修）：1,992,658千円、外部処理委託：93,302千円 計：2,085,960千円

期待される効果・成果目標等

基幹的設備改良（焼却炉の高効率設備への改修）により運転経費を抑え、施設の延命化を図るとともに温室効果ガスの削減を図ります。

款	衛生費	項	環境保全対策費
---	-----	---	---------

環境基本計画見直し事業

(新規)

担当	市民生活部 環境保全課
----	----------------

予算額			5,542	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	5,542
		地方債		施策の大綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	1 持続可能な地球環境の保全		
	一般財源		5,542	施策の内容	1 環境基本計画の推進と進行管理		

事業の目的

土浦市環境基本計画を進捗状況や社会情勢に応じて見直すことで、「土浦市環境基本条例」に示される基本理念である、現在及び将来の市民が健康で文化的な生活を営むために必要となる良好な環境の保全と創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

環境基本計画は、環境の保全及び創造に関する総合的かつ長期的な施策を、各主体別（市民、事業者及び行政）が計画的に推進するために必要な事項を定めたものです。

平成28年度は、第二期土浦市環境基本計画（計画期間：平成24年度～平成33年度の10年間）が5年目の中間年次となることから、本計画の進捗状況や社会情勢の変化に対応するために、本計画の見直しを行います。

なお、見直しに当たっては、土浦市環境審議会の意見を聴いた上で、市民の意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。

◎予算内容：環境審議会委員報償費 525千円、環境審議会委員飲物代 17千円
計画見直し委託料 5,000千円

【今後の予定】

改訂する本計画を、市民・事業者にも周知するとともに、各主体別（市民、事業者及び行政）において本計画に基づく取組を推進し、これらに対して進行管理を行い、PDCAサイクルに基づき、継続的に改善を図っていきます。



第二期土浦市環境基本計画

期待される効果・成果目標等

本計画に掲げた「自然環境」・「生活環境」・「快適環境」・「地球環境」・「人づくり」の5つの基本目標に係る環境課題を克服するための取組を推進し、本市の目指すべき将来像『人と自然が共生し、暮らしつながる水郷のまち つちうら』の実現を図ります。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

有害鳥獣（イノシシ）捕獲事業

（継続）

担当 産業部
農林水産課

予算額			3,000				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	3,000
		地方債		施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興		
	一般財源		3,000	施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全		

事業の目的

有害鳥獣であるイノシシを捕獲し、農作物への被害防止および市民生活の安全確保を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

イノシシの個体数は、増加傾向にあり、農作物への被害が減少しないため、JA土浦が主体となって実施している捕獲活動期間以外の期間において、県イノシシ保護管理計画に基づき、わな免許等の狩猟資格を有する者で組織された捕獲隊へイノシシ捕獲業務を委託しています。

捕獲実績	実施主体	回数	延べ日数	捕獲頭数
22年度	(JA主体)	3回	99日間	41頭
23年度	(JA主体)	5回	146日間	51頭
24年度	(JA主体)	3回	76日間	35頭
	市主体	1回	29日間	15頭
25年度	(JA主体)	2回	60日間	31頭
	市主体	4回	通年	54頭
26年度	(JA主体)	2回	60日間	38頭
	市主体	2回	通年	37頭



捕獲箱設置状況



イノシシ捕獲例

【今年度事業内容】

- ・平成28年度からスタートする新たな「土浦市・かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画」に基づき、鳥獣生息域の隣接市と調整し、効果的・効率的な有害鳥獣被害の防止対策を進めます。
- ・有害鳥獣捕獲わな監視装置を導入します。

○有害鳥獣捕獲委託料 3,000千円

期待される効果・成果目標等

農作物への被害が軽減されるとともに、市民生活環境の安全に寄与します。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

新しい農業研究開発事業

(新規)

担当

産業部
農林水産課

予算額		500	(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成28年度	全体事業費
		地方債	施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり	
		その他	施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興	
	一般財源	500	施策の内容	3 農業経営体の育成	

事業の目的

農業者等の組織が計画し実施する、新たな作物栽培や加工品開発等に対して支援を行い、生産意欲の向上や農業者の農業技術の向上により、地域農業を活性化するとともに、農業の担い手育成を図ります。

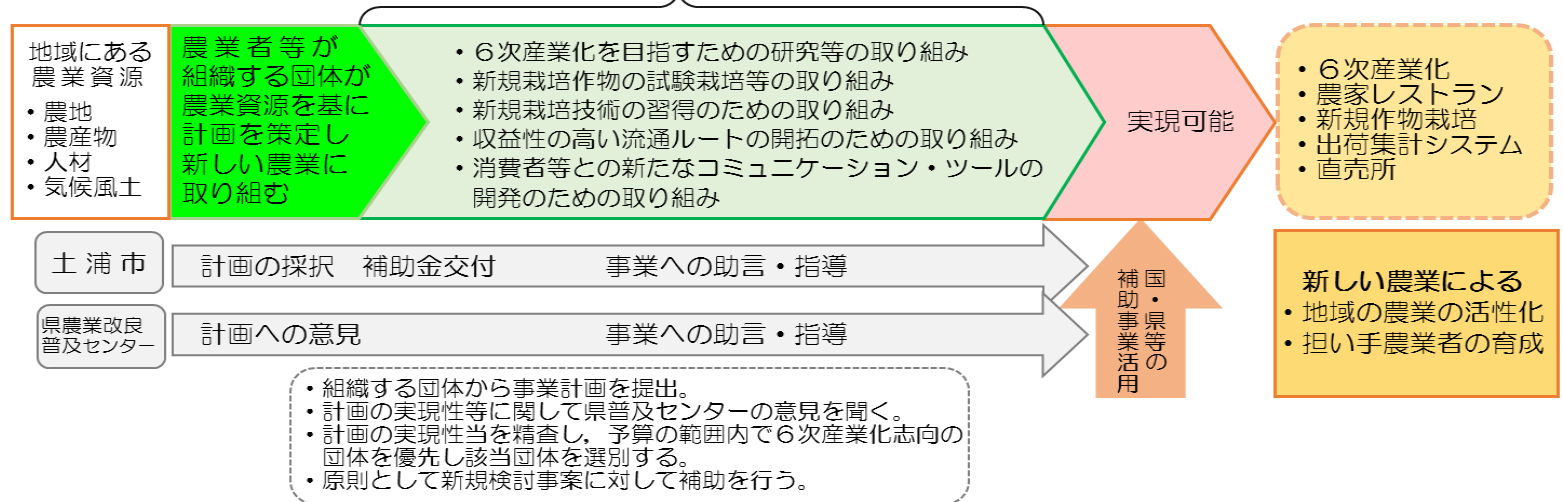
事業の概要

【今年度事業内容】

○事業費内訳

- ・事業対象団体
農業者等の組織する団体
- ・標準事業費 200千円
- ・補助率 1/2以内
- ・想定団体数 5団体
- ・補助金額 500千円
(100千円 × 5団体)

「新しい農業研究開発事業」で取り組む事業例



期待される効果・成果目標等

農業者等の組織が現時点よりも向上を目指す取組を行うことにより、生産意欲や農業技術を高めます。また、6次産業化等の準備段階としての調査研究活動等に活用されることで、次の事業への発展が期待されます。

さらに、農業者が地域を見直し、埋もれていた新たな地域資源を発見することが期待されます。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

一般地帯土地改良事業

(継続)

担当 産業部
農村整備課

予算額			55,000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	5,500	事業期間	平成28年度	全体事業費	55,000
		地方債	36,700	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興		
	一般財源		12,800	施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全		

事業の目的

農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献するとともに、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

事業の概要

◎農道整備

【これまでの経緯】 平成26年度末までに、農用地区域の道路約357kmのうち、195.1kmについて整備済み（約55%）。

【今年度事業内容】 農道改良工 1地区（虫掛地区） L=45m
農道舗装工 10地区（手野地区、今泉地区、永井地区、田村地区、菅谷地区、常名地区、本郷地区、大岩田地区、大志戸地区、木田余地区）
L=654m 計22,590千円



農道舗装工（完成）

◎かんがい排水整備

【これまでの経緯】 平成26年度末までに、農用地区域の水路全約93kmのうち、18.2kmについて整備済み（約20%）。

【今年度事業内容】 排水路整備工 4地区（飯田地区、常名2期地区、田中地区、西真鍋地区） L=501m 計31,410千円



排水路整備工（完成）



農道改良工（完成）

◎法定外水路管理

【今年度事業内容】 修繕、草刈清掃委託 計1,000千円

期待される効果・成果目標等

大型機械の進入が可能になり、営農効率の向上に寄与するとともに、遊休農地の解消が図られます。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

企業誘致事業

(継続)

担当 産業部
商工観光課

予算額		107,749	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成28年度	全体事業費	107,749
		地方債	施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	施策名	6 創造性と技術力のある工業の振興と企業誘致		
	一般財源	107,749	施策の内容	1 企業誘致の推進と優遇制度の充実		

事業の目的

企業立地セミナー等に参加し、交通アクセスの優位性や企業立地促進奨励金（固定資産税相当額を3年間交付する。）をPRすることにより、本市へ新たな企業を誘致し、産業振興と雇用機会の拡大を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・奨励金交付企業数（平成23年度 13社・平成24年度 9社・平成25年度 9社・平成26年度 5社・平成27年度 5社）
- ・立地企業懇談会の開催
- ・企業立地セミナー等への参加
- ・平成27年度に、企業立地促進奨励金の交付対象地域を工業団地から市街化区域やインターチェンジ周辺へ拡大

【今年度事業内容】

- ・奨励金交付企業数 6社
- ・企業立地セミナー等への参加

【今後の予定】

平成30年度までに、土浦おおつ野ヒルズの残り4区画の完売を目指します。



土浦おおつ野ヒルズ

期待される効果・成果目標等

新たな企業を誘致することにより、雇用の場の創出や定住人口の増加を図り、地域経済の活性化、更には、税収増による本市財政の強化に寄与することを目標としています。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

イルミネーション事業

(継続)

担当 産業部
商工観光課

予算額			7,600	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	7,600
		地方債		施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興		
	一般財源		7,600	施策の内容	4 観光行事の充実		

事業の目的

本市の顔である土浦駅前や霞ヶ浦の観光拠点である霞ヶ浦総合公園をイルミネーションで装飾し、中心市街地の活性化と霞ヶ浦の魅力化や水辺の交流空間づくりを図ります。

事業の概要

◎ウィンターフェスティバル事業 〈補助金 1,600千円〉

【これまでの経緯】平成5年から事業を開始し、本年度で24回目の開催となります。

主催：ウィンターフェスティバル実行委員会

【今年度事業内容】土浦駅西口ペデストリアンデッキ、うらら広場等に装飾を施します。

【今後の予定】11月下旬から2月中旬まで点灯予定です。



◎霞ヶ浦観光にぎわい事業 〈補助金 6,000千円〉

【これまでの経緯】平成24年から事業を開始し、本年度で5回目の開催となります。

主催：光がつくる“Art”水郷桜イルミネーション推進委員会

【今年度事業内容】オランダ型風車を中心に装飾を施します。

【今後の予定】11月中旬から2月末まで点灯予定です。



期待される効果・成果目標等

イルミネーション装飾により、にぎわいの創出と地域の活性化が図られるとともに、冬の風物詩として本市のイメージアップに寄与します。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

第85回土浦全国花火競技大会開催事業

(継続)

担当 産業部
商工観光課

予算額			70,629	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	70,629
		地方債		施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	20,000	施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興		
		一般財源	50,629	施策の内容	4 観光行事の充実		

事業の目的

本市が全国に誇る土浦全国花火競技大会の更なる充実を図り、花火のまち「土浦」を全国にアピールするとともに、煙火技術の向上に貢献します。また、雑踏警備や火気取扱いの指導などの安全対策に力を注ぎ、より安心で安全な大会の運営に万全を期し、全国の模範となる大会運営を行います。

事業の概要

【これまでの経緯】

大正14年に神龍寺の住職であった故秋元梅峯師が、海軍航空隊の殉職者の慰霊と、関東大震災後の不況で疲弊した経済の活性化を図ることを目的に開催したのが始まりです。途中、第二次世界大戦による中断がありましたが、昨年度までに84回開催しています。

【今年度事業内容】

第85回土浦全国花火競技大会：平成28年10月1日（土）開催予定
競技内容：スターマインの部 22台、10号玉の部 45発、創造花火の部 22組
大会提供花火：レクチャー花火、ワイドスターマイン「土浦花火づくし」、
エンディング花火

【今後の予定】

5月中旬 実行委員会開催予定
7月下旬 有料桟敷席インターネット販売予定、9月1日有料桟敷席窓口販売予定



ワイドスターマイン「花火づくし」

期待される効果・成果目標等

本市のみならず茨城県内でも最大規模のイベントであり、本市を全国にアピールすることで、イメージアップを図ります。また、例年70万人を超える観客が集まることから経済的な効果も高く、本市経済の活性化に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路ストック修繕事業／市道路面下空洞修繕事業

(継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額			72,000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	39,600	事業期間	平成25年度～平成30年度	全体事業費	255,912
		地方債	25,900	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
	一般財源		6,500	施策の内容	4 道路環境の形成		

事業の目的

道路の計画的な予防保全型修繕を推進し、避難路及び緊急輸送路の安全確保を図ります。

事業の概要

◎道路ストック修繕事業

平成25年12月の中央自動車道笹子トンネル事故等を踏まえ、道路施設の予防型修繕を目的として、路面性状調査、擁壁・法面、照明施設等の点検調査を実施し、その結果に基づき各施設の修繕工事を実施します。

【これまでの経緯】

平成25年度～平成26年度 道路ストック総点検事業の実施

平成27年度 擁壁修繕詳細設計、道路照明施設修繕工事（8基）

【今年度事業内容】 擁壁補修工事（新川、大岩田の2か所） 事業費 44,000千円

【今後の予定】 平成29年度～平成30年度 道路舗装打換工事



新川擁壁現況

◎市道路面下空洞修繕事業

市道のうち、緊急輸送道路等L＝194kmについて、路面下空洞調査を実施した結果、陥没の危険性が高いと判断された83か所について、空洞二次調査を行い、修繕工事を実施します。

【これまでの経緯】

平成25年度～平成26年度 路面下空洞調査の実施 L＝194km（77路線）

平成27年度 路面下空洞二次調査の実施（調査箇所40か所）

【今年度事業内容】 路面下空洞二次調査（調査箇所43か所）及び路面下空洞修繕工事の実施（修繕予定箇所23か所） 事業費 28,000千円

【今後の予定】 平成29年度 路面下空洞修繕工事（修繕箇所30か所予定）

期待される効果・成果目標等

道路施設の適切な点検調査による現状把握と、その結果に基づく的確な修繕を実施することにより、安全かつ円滑な交通の確保に努めるものです。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業

(継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額			117,000	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	64,350	事業期間	平成7年度～平成42年度	全体事業費	1,057,738
		地方債	47,300	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
		一般財源	5,350	施策の内容	8 橋梁震災対策の推進		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り，災害時における緊急輸送路等を確保するとともに，安全な道路交通を推進します。

事業の概要

◎橋梁耐震対策事業(平成7年度～平成42年度)：橋梁の耐震性を向上させ，地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図ります。

【これまでの経緯】耐震化予定の橋梁34橋のうち，16橋について落橋防止等を施工しました。

【今年度事業内容】国道6号5号橋耐震補強工事，国道6号6号橋耐震補強工事設計委託 事業費 28,000千円

【今後の予定】平成42年度までに，34橋について耐震化工事を実施します。

◎橋梁長寿命化修繕事業(平成25年度～平成33年度)：老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し，利用者の安心・安全を図ります。

【これまでの経緯】市で管理している橋梁243橋のうち橋長15m以上の79橋について策定した橋梁長寿命化修繕計画(平成23年度)に基づき，橋梁9橋について修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】桜川1号橋他2橋修繕工事，天の川3号橋他7橋修繕詳細設計委託 事業費 89,000千円

【今後の予定】平成33年度までに，34橋について修繕工事を完了させ，平成34年度から残りの45橋について工事を行います。



国道6号5号橋
(中高津第二跨道橋)現況

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより，橋梁の長寿命化を図るとともに，予算の平準化と維持管理費用の削減を行い，道路交通の安全性と信頼を，将来にわたり確保することができます。

※平成28年度末進捗率(予定)：橋梁耐震対策事業 50.0%(前年度比2.9%増)，橋梁長寿命化修繕事業 15.2%(前年度比3.8%増)

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路新設改良事業

(継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額			650,009	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	100,000	事業期間	平成28年度	全体事業費	650,009
		地方債	458,400	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	91,609	施策の内容	3 生活道路の整備		

事業の目的

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るとともに、歩行者及び自転車通行の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（平成27年4月1日現在） L=1,515,954m（6,918路線）
うち改良済延長 L= 711,787m（改良率 46.95%）
うち歩道整備済延長 L= 120,380m（歩道整備率 7.94%）

【今年度事業内容】

(単位：m, 千円)

区 分	路線数	延長	金 額
道路改良工事	40	4,145	443,000
測量設計委託	25	6,353	73,500
用地取得	35		61,900
物件移転補償	28		62,280
役務費（登記料等）			7,220
原材料購入			500
事務費等			1,609
合 計			650,009



市道Ⅰ級38号線（荒川沖東三丁目）整備状況

【今後の予定】

住みよいまち実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。

期待される効果・成果目標等

道路拡幅整備により日常生活の利便性の向上を図るとともに、歩行者・自転車通行の確保、緊急車両等の通行を可能にすることにより、市民の安全と交通事故の防止に寄与します。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業

(継続)

担当 建設部
下水道課

予算額			63,500	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	36,490	事業期間	平成28年度	全体事業費	63,500
		地方債	19,400	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	5 浸水被害に強いまちづくり		
	一般財源		7,610	施策の内容	1 都市下水路の整備		

事業の目的

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する施設の整備を計画的に進めます。また、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しながら、生活環境の改善に努めます。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】平成22年度から、西根竹の入都市下水路、天川上高津都市下水路等の整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】西根竹の入都市下水路整備工事 L=50m 事業費 47,500千円

※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、実施します。

【今後の予定】西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、年次計画に基づき、整備します（～平成29年度）。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】平成25年度から、虫掛・中高津・荒川沖地内等において整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】虫掛地内小規模排水路整備工事 L=100m 事業費 16,000千円

【今後の予定】今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

協働のまちづくりファンド事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			15,150	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	15,150
		地方債		施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	15,000	施策名	3 景観の向上		
	一般財源		150	施策の内容	3 市民参加による都市景観づくり		

事業の目的

「土浦市協働のまちづくり基金」を活用し、市民団体等が自主的に行うまちづくり活動に対して補助することにより、魅力的で個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度から事業を開始し、これまで、市民提案事業（ハード）2件、景観形成事業7件の事業認定を行っています。

【今年度事業内容】

◎市民提案事業（ハード）・・・市民団体の提案する公共性や公益性の高いハード事業

上限5,000千円 補助率4/5以内

◎景観形成事業・・・指定地区における歴史的建造物等の保存や修景工事に係る事業

(単位：千円)

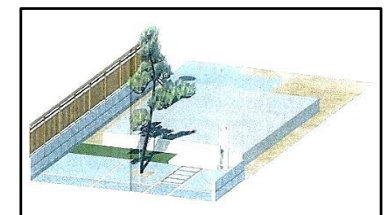
補助対象物件	補助額の上限	補助率
景観重要建造物	5,000	2/3以内
中城通り地区の建築物	3,000	2/3以内
上記以外の建築物	1,500	1/2以内
外構等	1,000	1/2以内

【今後の予定】

事業の周知徹底により、更なる利用促進を図ります。



周辺の公共施設の修景が進んでおり、行政と歩調を合わせて、和風の意匠で建替えを行う。



旧城下町地区の歴史的景観に配慮し、天然素材を取り入れた和風の意匠の外構を復旧する。

平成27年度 認定事業（景観形成事業）

期待される効果・成果目標等

自主的・主体的な市民活動の活性化により、本市固有の歴史景観の維持保全と、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

協働のまちづくりファンド事業

(継続)

担当 市民生活部
市民活動課

予算額			2,100	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	2,100
		地方債		施策の大綱	1－2 市民と行政が一体となった協働のまちづくり		
		その他	2,100	施策名	1 市民協働のまちづくりの推進		
		一般財源	0	施策の内容	1 協働のシステムづくり		

事業の目的

「土浦市協働のまちづくり」基金を活用し、市民活動団体が自主的に行うまちづくり活動に対して補助することにより、魅力的で個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指します。

事業の概要

◎市民提案（ソフト）事業

コミュニティの活性化や地域課題を解決するため市民自らが実践する新たなまちづくり活動となる事業への補助

- ・1年目 上限300千円 補助率3/4
- ・2年目 上限200千円 補助率1/2

○対象団体

NPO法人、ボランティア団体等の市民活動団体

【これまでの経緯】

平成27年度から事業募集を開始し、3件の事業を認定

【今年度事業内容】

募集期間 4月～5月

※6月下旬頃に、運営委員会による審査が行われます。

【今後の予定】

事業の浸透に努め、継続的に実施します。

【平成27年度認定事業の実施の様子】



●NPO法人エコレン
『市民のエコ活動推進事業
(レッツエンジョイエコラ
イフ)』



●NPO法人
ネイチャークラブにいはい
『ふるさと再発見プロモ
ーション』



●中城通りおかみさん会
『中城通り秋のにぎわい市
－ 缶バッチでつなごう
人・街・店－』

期待される効果・成果目標等

自主的・主体的な市民活動の活性化により、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に寄与することが期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

かわまちづくり事業

(継続)

担当	都市整備部 都市計画課
----	----------------

予算額			21,663	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	8,500	事業期間	平成24年度～平成30年度	全体事業費	149,704
		地方債	7,600	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備		
	一般財源		5,563	施策の内容	6 良好な水辺空間の整備		

事業の目的

平成25年度に策定した「かわまちづくり計画（計画期間：平成26年度～平成30年度）」に基づく事業を市民・河川管理者・市の連携の下で推進することにより，霞ヶ浦や桜川の水辺空間とまちが融合した良好な空間形成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 基本・実施設計委託（遊歩道，カヌー等船着き場，トイレ等），遊歩道の距離標デザインの募集等
平成27年度 遊歩道整備工事（常磐線・桜川橋間 L=252m），ガードレール修繕工事（匂橋付近）等

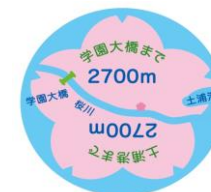
【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
遊歩道整備工事 (桜川左岸 銭亀橋・土浦橋間 L=250m)	17,000
距離標設置 (遊歩道路面上 土浦港～学園大橋 L=5.5km, 100mごと)	3,870
川の標識設置（水郷橋～学園大橋 N=6か所）等	793
合計	21,663



桜川左岸（土浦橋・銭亀橋間）現況



距離標デザイン
最優秀作品

【今後の予定】

平成30年度までに，カヌー等船着き場，トイレ等を整備します。また，計画については，平成30年度に，計画内容及び取組状況を検証し，見直しを行います。

期待される効果・成果目標等

中心市街地に近接する霞ヶ浦や桜川の水辺空間について，まちと水辺が融合した良好な空間形成が図られることにより，市民に潤いや安らぎをもたらし，生涯学習，健康づくり，遊びの場等となるとともに，恵まれた自然環境を生かしたまちの活性化に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

亀城モール整備事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			135, 852	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	65, 941	事業期間	平成26年度 ～ 平成29年度	全体事業費	904, 303
		地方債	59, 300	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		10, 611	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 補償調査の実施、用地補償
平成27年度 用地補償

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
用地補償	131,883
柵設置工事等	2,000
補償調査等	1,969
合 計	135,852

【今後の予定】

平成29年度 工事着手



整備イメージ

期待される効果・成果目標等

歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、市民や来訪者にとって潤いのある憩いの空間が形成されます。また、イベント等での活用を図ることにより、にぎわいを創出するとともに、中心市街地の更なる魅力向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

立地適正化計画策定事業

(継続)

担当	都市整備部 都市計画課
----	----------------

予算額			12,617	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	6,000	事業期間	平成27年度 ～ 平成28年度	全体事業費	18,557
		地方債		施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 市民参加による適切な土地利用の誘導		
		一般財源	6,617	施策の内容	2 コンパクトなまちづくりの推進		

事業の目的

住宅及び医療、福祉、商業その他の居住に関連する施設の立地の適正化を図るため、一定の区域への誘導を行い、コンパクトなまちづくりを推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度 基礎調査、調査データ分析、誘導方針及び誘導区域素案の検討
土浦市都市計画審議会への説明等

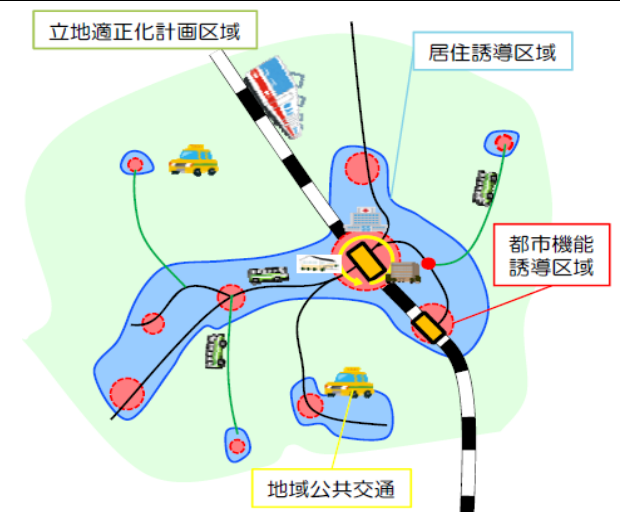
【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
立地適正化計画策定	12,000
平成27年度の調査結果を踏まえ、計画素案作成（誘導区域、誘導施策、目標値等の設定）、住民説明会、都市計画審議会、パブリックコメント等の実施	
都市計画審議会の運営等（委員報酬等）	617

【今後の予定】

平成29年度から計画に基づく事業・施策を実施します（平成33年度に評価・見直しを行う。）。



立地適正化計画のイメージ

期待される効果・成果目標等

医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、市民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えを実現して、市民の健康で快適な生活と、持続可能なまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦駅西口広場整備事業

(継続)

担当

都市整備部
公園街路課

予算額			242, 123	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	118, 800	事業期間	平成25年度 ～ 平成29年度	全体事業費	950, 113
		地方債	110, 200	施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
	一般財源		13, 123	施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備		

事業の目的

土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業，土浦駅北通り線整備事業，土浦駅西口ペデストリアンデッキ整備事業に併せ，バリアフリー基本構想に合致した，人及び車等の利用者が安全・安心に移動できる広場への改修を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度は，バスターミナル側の改修工事を施工しています（進捗率68.0％）。

【今年度事業内容】

平成28年度は，一般車乗降場・タクシープール側の改修工事を施工します。

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
工事請負費	一般車乗降場等	237, 600
工事請負費	交通安全施設等	4, 400
旅費等	出張旅費等	123
計		242, 123

【今後の予定】

土浦駅北通り線整備事業の完成後，交差点改良工事を施工し，平成29年度末の事業完了を目指します。



一般車乗降場・タクシープール側整備イメージ図

期待される効果・成果目標等

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し，交錯する動線を解消することや，広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより，安全性の向上が見込まれます。また，りそな銀行前の食い違い交差点を解消し，直交化することにより，広場に進入していた通過交通の排除及び交通の円滑化を図ります。

さらに，シェルターやサイン等を併せて設置することで，利用者の利便性を向上し，公共交通機関の利用促進を図ります。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

神立駅西口地区土地区画整理事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			503,000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成24年度～平成31年度	全体事業費	8,610,000
		地方債	424,200	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 地域の特性を活かした市街地の整備		
	一般財源		78,800	施策の内容	2 神立駅周辺地区の整備		

事業の目的

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度 仮換地指定（指定率91%），建物等移転補償開始

平成27年度 仮換地指定（指定率100%），駅舎・自由通路整備協定締結

【今年度事業内容】

(単位：千円)

建物等移転補償費	126,626
駅舎橋上化・自由通路新設工事負担金	115,500
道路工事費・宅地造成工事費・補償算定委託料等	229,280
事務費・派遣職員人件費	31,594
合 計	503,000

【今後の予定】

平成30年6月駅舎・自由通路一部供用開始，平成31年度末事業完了

神立橋上駅舎イメージ図



期待される効果・成果目標等

駅前広場，都市計画道路，橋上駅舎や自由通路等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

常名虫掛線街路事業

(継続)

担当

都市整備部
公園街路課

予算額			360, 140	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	115, 084	事業期間	平成22年度 ～ 平成29年度	全体事業費	2, 021, 048
		地方債	215, 200	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源	29, 856	施策の内容	2 都市計画道路等の整備			

事業の目的

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状線として、整備を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度末までに、全延長1,435mのうち545mの供用を開始しました。

平成27年度は、道路改良工事、道路舗装工事を施工しています（進捗率52.6%）。

【今年度事業内容】

平成28年度は、道路改良工事や基礎調査を実施します。

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	327, 000
補償補填及び賠償金	物件補償	26, 000
委託料	基礎調査等	6, 500
公有財産購入費	用地買収	390
役務費	物件補償調査	250
計		360, 140

【今後の予定】

平成29年度末の事業完了を目指します。



常名虫掛線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

中心市街地と並木地区（常磐自動車道土浦北インター）を結ぶ道路ネットワークの構築により、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上及び常名運動公園へのアクセスの向上につながります。

また、周辺自治体との新たなネットワークが強化され、観光交流の促進及び地域の復興・再生につながります。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

真鍋神林線延伸道路整備事業

(継続)

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			7,718	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成24年度 ～ 平成28年度	全体事業費	1,200,670
		地方債	4,100	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
		一般財源	3,618	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することにより、広域的な地域間連携及び道路ネットワークの強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

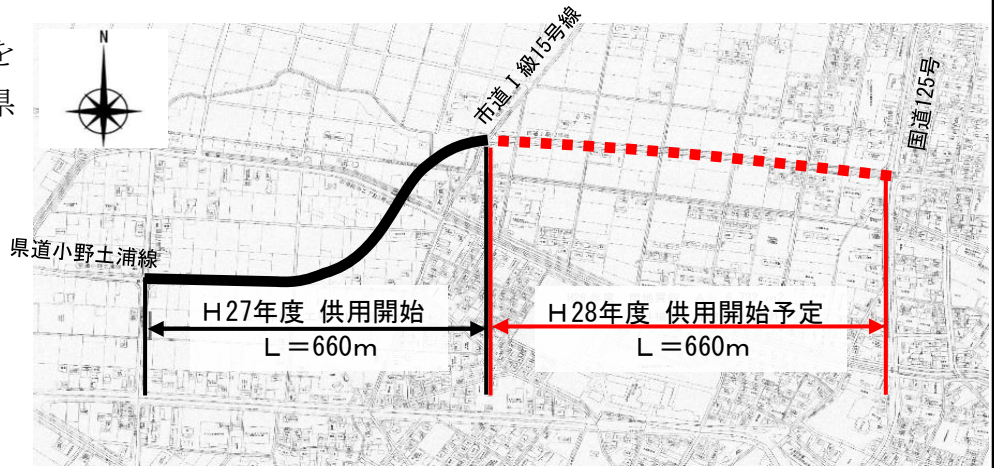
平成27年度は、用地買収、物件補償、道路改良工事、道路舗装工事を実施しました（進捗率99.3%）。平成27年度末に市道Ⅰ級15号線から県道小野土浦線までの供用を開始します。

【今年度事業内容】

供用開始後の道路台帳修正、交通状況及び整備効果等の確認や、交通管理者からの要望に対応するために必要となる工事を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	排水路機能補償工事等	4,644
需用費等	報酬、旅費等	1,766
委託料	道路台帳修正、交通量調査	1,308
計		7,718



真鍋神林線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

中心市街地の交通渋滞緩和による交通アクセス機能の向上はもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与するとともに、本路線の隣接区域に新消防庁舎が建設されたことから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスも向上します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

田村沖宿線延伸道路整備事業

(継続)

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			670, 000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	353, 848	事業期間	平成24年度 ～ 平成29年度	全体事業費	1, 421, 499
		地方債	279, 500	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源	36, 652	施策の内容	2 都市計画道路等の整備			

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度は、用地買収、物件補償、道路改良工事、交差点改良舗装工事等を実施しました（進捗率52.7%）。平成27年度末に国道354号から市道Ⅰ級13号線までの供用を開始します。

【今年度事業内容】

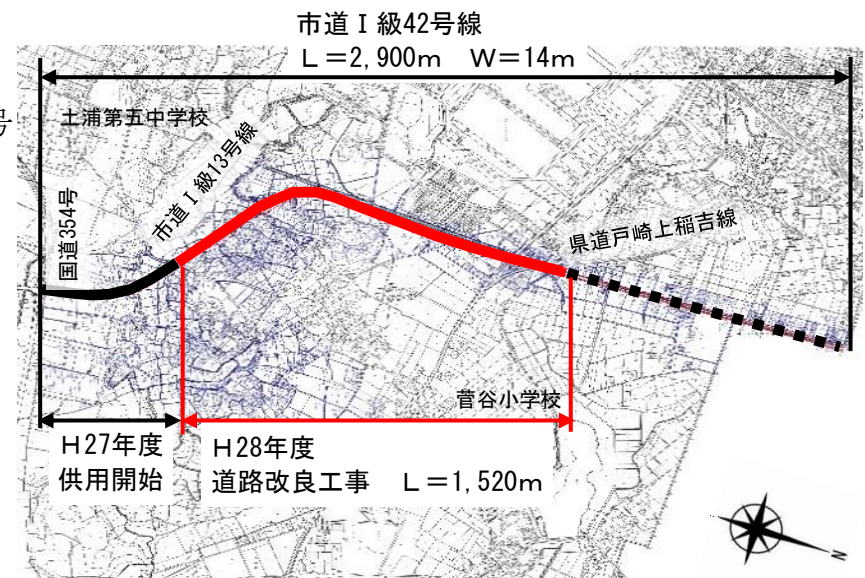
平成28年度は、用地買収、物件補償及び道路改良工事等を実施します。

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	562,248
補償補填及び賠償金	物件補償	82,330
公有財産購入費	用地買収	19,230
委託料等	道路台帳修正等	6,192
計		670,000

【今後の予定】

平成28年度末までに市道Ⅰ級13号線から県道戸崎上稲吉線までの供用を開始し、平成29年度末までの事業完了を目指します。



田村沖宿線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院への交通アクセス向上が図れます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業

（継続）

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			155, 960	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	80, 520	事業期間	平成26年度 ～ 平成32年度	全体事業費	1, 282, 750
		地方債	63, 200	施策の大綱	2－1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源	12, 240	施策の内容	2 都市計画道路等の整備			

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（Ⅰ期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度は、道路詳細設計及び用地測量を実施（進捗率2.7%）しています。

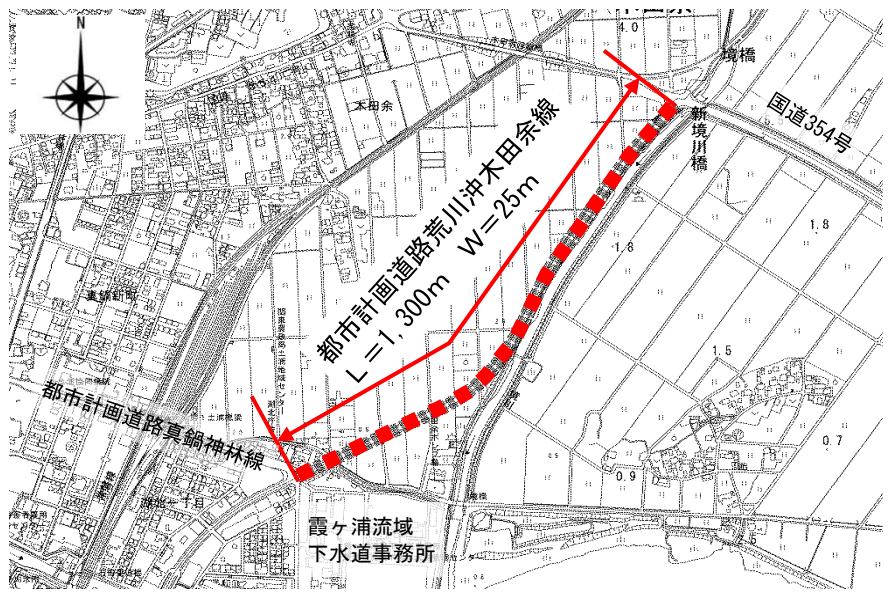
【今年度事業内容】

平成28年度は、用地測量を実施後、用地買収及び物件補償を進めます。
(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	130,450
補償補填及び賠償金	物件補償	15,000
委託料	用地測量	5,400
役務費等	物件補償調査等	5,110
計		155,960

【今後の予定】

用地買収を進めながら、平成29年度から道路改良工事に着手し、平成32年度末の事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

ボトルネックの解消により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、通過交通の排除により、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

川口田中線街路事業（Ⅲ期）

（継続）

担当 都市整備部
公園街路課

予算額			8,500	（単位：千円）			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成20年度～平成28年度		全体事業費
		地方債	5,500	施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 高質な都市基盤の整備		
	一般財源		3,000	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

本路線は、本市の中心市街地の骨格となる市街地環状道路として位置付けられており、市街地東西を結ぶ延長2,500mの道路として都市計画決定され、Ⅰ期・Ⅱ期事業区間は既に供用開始しています。

本事業では、城北町の旧国道354号から土浦警察署までの未整備区間（Ⅲ期：L=469m）を整備し、全区間の開通を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

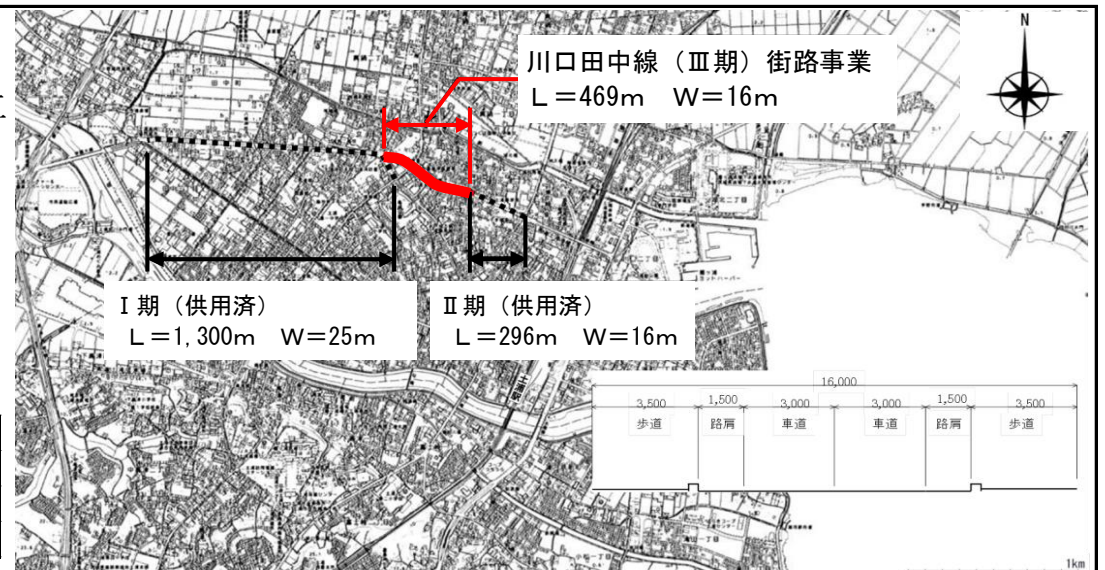
平成27年度は、本路線と国道125号との交差点改良工事を施工しています（進捗率99.1%）。

【今年度事業内容】

供用開始後の交通状況及び整備効果等の確認や交通管理者からの要望に対応するために必要な工事を実施します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
工事請負費	交通安全施設設置	6,210
委託料	交通量調査等	2,290
計		8,500



川口田中線街路事業（Ⅲ期）箇所図

期待される効果・成果目標等

都市基盤である都市計画道路の整備によって、円滑な交通動線の確保と快適な道路環境を形成することにより、都市機能向上を図るとともに、防災に強いまちづくりにも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

まちなか定住促進支援事業

(継続)

担当 都市整備部
都市計画課

予算額			32,200	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	16,100	事業期間	平成28年度	全体事業費	32,200
		地方債		施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
	一般財源		16,100	施策の内容	3 まちなか居住の促進		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を活用し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎実績

年度	家賃補助	建替え・購入補助
平成26年度	2件	8件
平成27年度	20件	20件

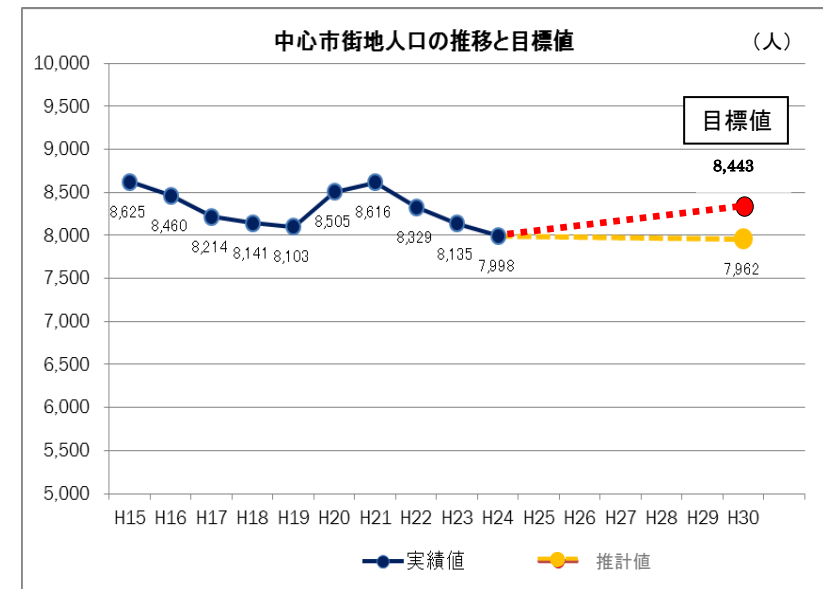
※平成27年度実績は平成27年11月末現在

【今年度事業内容】

- ①まちなか住宅建替え・購入借入金補助 25,000千円
中心市街地エリア内の住宅建替え、又は住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ②まちなか賃貸住宅家賃補助 7,200千円
土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助します。

【今後の予定】

計画期間の平成30年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。



期待される効果・成果目標等

居住人口の増加により、中心市街地での活力とにぎわいの創出に寄与します。

【中心市街地居住人口 目標値：8,443人（H30年）】

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦港周辺広域交流拠点整備事業

(継続)

担当

都市整備部
都市計画課

予算額			8,000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	8,000
		地方債		施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備		
		一般財源	8,000	施策の内容	2 公園・緑地の整備		

事業の目的

公共と民間の連携により、中心市街地における憩いの場として広く市民に開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間を整備し、水辺のにぎわいを創出します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成22年度 (株)プロパストより用地取得
- 平成23年度 暫定広場整備工事を開始
- 平成24年度 まちなかグランドデザイン策定業務委託
- 平成27年度 川口二丁目地区官民連携導入条件調査業務委託

【今年度事業内容】

これまでの調査結果を踏まえ、川口二丁目地区全体の開発基本計画の策定を行います。

事業費 基本計画策定委託料：7,500千円、基本計画策定委員会報償費等：500千円

【今後の予定】

平成28年度に策定する基本計画に基づき、平成29年度以降に測量、基本設計、実施設計及び工事を行います。



川口二丁目地区の開発イメージ

期待される効果・成果目標等

本市の貴重な自然資源である霞ヶ浦を生かして、にぎわいと交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

常備消防車両更新事業

(新規)

担当 消防本部
総務課

予算額			49,313	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	14,204	事業期間	平成28年度	全体事業費	49,313
		地方債	30,800	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
		その他		施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実		
	一般財源		4,309	施策の内容	1 消防力の充実		

事業の目的

長年の使用により性能が劣化している消防車両を更新整備し，消防力の基幹である消防車両の活動能力を維持します。

事業の概要

【今年度事業内容】

平成28年度購入車両

①消防ポンプ自動車（CD-I型）

荒川沖消防署

②査察広報車

土浦消防署南分署

※消防ポンプ自動車については，防衛施設周辺消防施設整備事業費補助金を活用して整備します。



消防ポンプ自動車



査察広報車

期待される効果・成果目標等

消防力の基幹である消防車両を更新整備することにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

情報教育関係事業

(継続)

担当 教育委員会
学務課

予算額		11,305	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成25年度～平成29年度	全体事業費	199,444
		地方債	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
	一般財源	11,305	施策の内容	6 社会の変化に適切に対応できる教育の推進		

事業の目的

小中学校へＩＣＴ機器を整備し、より良い学習環境を整え、教育の充実を図ります。

事業の概要

電子黒板等を小学校及び中学校の全普通教室及び理科教室に配置するとともに、小中一貫教育を推進するためＷＥＢ会議システムを整備します。

平成25年度から平成29年度の5か年で、全普通教室及び理科教室への電子黒板等の配置が完了します。

【これまでの経緯】

◎電子黒板配置状況 (単位：台)

年度	配置場所	配置台数
平成25年度	二中・三中地区小中学校	54
平成26年度	六中・都和中地区小中学校	46
平成27年度	一中・四中地区小中学校	100

※平成25年度～平成26年度：小学校5,6年生及び中学校の全普通教室に配置

平成27年度～平成29年度：小学校1年～中学校3年生の普通教室及び小中学校の理科教室に拡大して配置

【今年度事業内容】

平成28年度 配置場所：五中・二中地区小中学校 配置台数：76台

【今後の事業内容】

平成29年度 配置場所：三中・六中・都和中・新治中地区小中学校 配置台数：101台



ＩＣＴを活用した授業風景

期待される効果・成果目標等

ＩＣＴの効果的な活用により、児童生徒の興味関心を高め、課題を明確に把握することが容易になり、知識の定着を図ることができます。また、ＷＥＢ会議システムの導入により、各学校の教職員の意思疎通や共通理解が図られるとともに、交流授業においては、児童生徒が互いに教え合い学び合うことで、学力の向上を図ることができます。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業

(継続)

担当 教育委員会
教育総務課

予算額			200,000	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	66,662	事業期間	平成26年度～平成31年度	全体事業費	673,109
		地方債	132,600	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
	一般財源		738	施策の内容	10 学校施設の整備・充実		

事業の目的

東日本大震災の際に各地で被害が顕在化した、学校施設の非構造部材の落下防止等対策を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】 平成27年度末までにつり天井である小中学校の屋内運動場10校について施工しました。

〔対象校〕 小学校3校：神立小，都和南小，乙戸小

中学校7校：一中，二中，三中，四中，五中，六中，都和中

【今年度事業内容】 つり天井以外の小学校の屋内運動場8校のうち6校について、ガラス飛散防止、照明器具及び設備類の固定化を行います。

〔対象校〕 小学校6校：下高津小，荒川沖小，真鍋小，大岩田小，中村小，都和小

【今後の予定】 平成29年度

〔対象校〕 小学校2校：東小，右籾小



工事前



工事完成後

期待される効果・成果目標等

屋内運動場の非構造部の耐震化により、非常災害時の避難場所にも指定されている学校建物の安全性を確保するとともに、児童の安心安全な学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費／小学校費／中学校費
---	-----	---	-----------------

新治地区小中一貫教育学校整備事業

(継続)

担当 教育委員会
教育総務課

予算額			655,244	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	105,572	事業期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	2,728,363
		地方債	424,700	施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
	一般財源		124,972	施策の内容	1.1 小中学校の適正配置		

事業の目的

藤沢小，斗利出小，山ノ荘小の3小学校を1校に統合し，新治中学校敷地内に本市初の施設一体型の小中一貫校を整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

基本計画策定委員会の提言に基づき，平成26～27年度の2か年で，校舎の増築，既存校舎・屋内運動場の改修，グラウンドの改修等の基本・実施設計を実施しました。

【今年度事業内容】

平成28年9月に着工予定で，平成30年度に供用開始を目指しています。

「新治地区小中一貫校開校準備協議会」では校歌，校章，校旗の制定及び通学対策など，引き続き開校に向けた地元協議を進めていきます。

施設一体型の小中一貫教育学校における教育内容については，「小中一貫教育運営協議会」で検討します。

【今後の予定】

工種	平成28年度	平成29年度
校舎増築工事 既存校舎改修工事	←	→
体育館・外構等 改修工事		↔



完成予想図

平成28年度の事業費		(単位：千円)
区分	概要	事業費
報償費	校歌，校章制作	500
役務費	建築確認等計画通知手数料	473
委託料	工事監理委託料	9,319
工事請負費	増築工事，既存校舎改修工事	643,952
備品購入費	校旗購入	1,000
計		655,244

期待される効果・成果目標等

施設一体型の小中一貫教育学校を整備することで，9年間の連続した学びとともに日常的に異学年交流等が図られることから，児童生徒の社会性や協調性の向上につながります。さらに，小中学校教員の連携が図られることから，より良い生徒指導体制を確立することができます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

「大畑からかさ万灯」記録調査事業

(新規)

担当 教育委員会
文化課

予算額			2,202	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	1,100	事業期間	平成28年度	全体事業費	2,202
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		1,102	施策の内容	3 文化財の保護と活用		

事業の目的

「大畑からかさ万灯」は、記録作成の措置を講ずべき無形の民俗文化財として、国選択無形民俗文化財に認定されています。このような地域に残る伝統的な民俗行事の記録調査を行い、報告書を刊行することで継承のための資料として活用し資するとともに、魅力ある地域資源の情報発信を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和37年 「からかさ万灯」が茨城県指定文化財に指定。

昭和57年 「大畑からかさ万灯」の名称で国選択無形民俗文化財に認定。

平成27年 文化庁の「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」に係る映像記録制作の対象となる。

【今年度事業内容】

「大畑からかさ万灯」は、五穀豊穰・家内安全と雨乞いの祈願をこめて、江戸時代中期頃から行われてきた花火行事で、毎年8月15日に開催されています。

平成27年度に文化庁が記録映像を制作することに伴い、学術的調査報告書については、今年度に本市が主体となって作成するものです。

※「民俗文化財調査費国庫補助要項」に基づく補助金を活用します。



「からかさ万灯」の花火

期待される効果・成果目標等

記録映像と調査報告書を作成することにより、貴重な無形民俗文化財を後世に伝えていくことができます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

武者塚古墳出土品保存台製作事業

(新規)

担当

上高津貝塚ふるさと
歴史の広場

予算額			2, 290	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金	1, 144	事業期間	平成28年度 ～ 平成 29年度	全体事業費	7, 018
		地方債		施策の大綱	2－5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	1, 146	施策名	4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		0	施策の内容	4 埋蔵文化財の保護と活用		

事業の目的

平成26年に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存することで、本市の教育普及事業の更なる充実を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

資料の中でさび等が発生したため、保存処理の必要のあるものに適正な保存処理を行い、専用の展示ケースを製作します。



銀帯状金具



銅装三累環頭大刀



鉄製大刀

【今後の予定】

平成29年度は、保存処理の必要のない資料に対して、専用の展示ケースを製作します。また、全国にも類例の無い古墳時代人の髪型「美豆良（みずら）」に対して調査研究を行い、最も適正な保存処理と保存ケースの作成を実施します。

期待される効果・成果目標等

武者塚古墳は、今から約1,400年前に造られた豪族の墓で、埋められたままの状態を保ち、発見されました。この出土品は、当時の社会を考える上で一級の重要資料であり、末永く保存することで、市の宝として展示等の教育普及事業に役立てることができます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

重要資料公開推進事業／特別展・企画展事業

(継続)

担当

博物館、上高津貝塚
ふるさと歴史の広場

予算額			6,390	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	6,390
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		6,390	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実		

事業の目的

特別展やテーマ展、企画展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上に寄与します。

事業の概要

【今年度事業内容】

◎重要資料公開推進事業（博物館）

- ・第37回特別展「まちのしるし ―しるしが語る土浦の近代―」 平成28年3月19日（土）～平成28年5月8日（日）
- ・第38回特別展「（仮）常総の仏教500年」 平成29年3月～平成29年5月（予定）

商標などの「しるし」からみた近代土浦のまちのにぎわいや、土浦を含む常総の地に伝わった古代の仏教とその信仰について、様々な資料を通して紹介します。そのほか、特別公開「土屋家の刀剣 ―国宝・重要文化財の公開―」、テーマ展「藤森弘庵―土浦藩士十三年の足跡―」などを開催します。

◎特別展・企画展事業（上高津貝塚ふるさと歴史の広場）

- ・第19回企画展「（仮）植物利用の歴史」 平成28年10月～平成28年12月（予定）

人は、太古の昔より、身近にある植物を利用して生活してきました。縄文時代から江戸時代にかけて、人と植物の関わりについて、最新の調査研究成果を踏まえ、紹介します。



市内出土の瓦塔・瓦堂
(平安時代)

期待される効果・成果目標等

市内の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

新図書館施設整備事業／美術品展示室整備事業

(継続)

担当	教育委員会 図書館、文化課
----	------------------

予算額			1, 419, 132	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	684, 900	事業期間	平成25年度 ～ 平成29年度	全体事業費	3, 983, 239
		地方債	658, 350	施策の大綱	2－5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	20, 064	施策名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興， 4 文化・芸術活動の振興		
	一般財源		55, 818	施策の内容	4 新図書館の整備・推進， 2 文化施設等の整備充実		

事業の目的

土浦駅前北地区市街地再開発事業の複合施設として、市民の生涯学習活動や芸術文化活動の拠点となるとともに、街や人を元気にする交流拠点として、集客やにぎわいを創出する新しい図書館及び本市初となる美術品展示室（ギャラリー）の整備を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】 平成25年度 基本設計, 26年度 実施設計, 27年度 実施設計修正

【今年度事業内容】	◎図書館	・ 建築工事	712,434千円	◎ギャラリー	・ 建築工事	246,534千円
		・ 工事監理	10,566千円		・ 工事監理	3,466千円
		・ 駅北特会繰出金	391,618千円		・ 消耗品購入	5,000千円
					・ 駅北特会繰出金	49,514千円

【今後の予定】

土浦駅前北地区再開発事業に合わせて、内装及び設備工事、備品購入、運営体制の検討、移転作業等を進め、平成29年度のグランドオープンを目指します。



図書館完成イメージ



ギャラリー完成イメージ

期待される効果・成果目標等

新図書館においては、快適で魅力的な読書空間をつくり、多様なニーズに応えることにより、市民生活への支援と生涯学習活動のより一層の拡大・充実を図ります。また、ギャラリーは、絵画などの収蔵品を生かした展覧会や市民の文化芸術活動の発表の場として、市民が芸術文化と触れ合う機会を提供します。新図書館・ギャラリーと民間業務施設など施設全体が連携を図ることにより、多くの市民の交流やにぎわいを生み出し、中心市街地の活性化に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

水郷プール再整備事業

(継続)

担当

教育委員会
スポーツ振興課

予算額			59,692	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成24年度～平成28年度	全体事業費	2,060,055
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他	55,335	施策名	5 適正な公共施設の維持管理と整備		
	一般財源		4,357	施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実		

事業の目的

東日本大震災で被害を受けた水郷プールについて、規模を縮小し、屋外型の市民プールとして現在地に再整備し、リニューアルオープンします。

事業の概要

◎プール施設の概要

- ・流水プール : 延長 270.5m, 幅 6.0m
- ・多目的プール : 25m×8コース
- ・ちびっ子プール : 376㎡
- ・直線スライダー : 延長 30.8m×3レーン
- ・チューブスライダー : 延長 80.7m×1レーン, 延長 50.2m×1レーン
- ・管理棟 : 1棟(鉄筋造2階建て 899.51㎡) □

◎供用開始時期 : 平成28年7月中旬

◎維持管理経費

- ・建物損害共済保険料 : 113千円
- ・プール管理委託料 : 59,190千円
- ・機械警備委託料 : 389千円



水郷プール 完成イメージ

期待される効果・成果目標等

水郷プールを再整備することにより、市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ります。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

川口運動公園野球場観覧席，夜間照明灯及び関連施設整備事業（継続）

担当 教育委員会
スポーツ振興課

予算額			1, 309, 008	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	94, 249	事業期間	平成26年度 ～ 平成29年度	全体事業費	2, 188, 728
		地方債	910, 900	施策の大綱	2－5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	5 適正な公共施設の維持管理と整備		
	一般財源		303, 859	施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実		

事業の目的

老朽化が著しく，狭あいな野球場の観覧席を新設します。また，平成31年度の茨城国体で軟式野球の会場として予定されていることから，併せて夜間照明灯の整備を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度：観覧席基本・実施設計委託及び観覧席改修地質調査委託を実施しました。

平成27年度：既存観覧席の解体工事を行い，観覧席整備工事及び夜間照明灯設置工事に着手しました。

【今年度事業内容】

- ◎野球場整備の概要
- ・収容人数（内野席）：約10, 000人
 - ・延床面積：8, 294㎡
 - ・夜間照明灯：ナイター照明設備 4基
 - ・平成27年度～平成29年度の3か年で継続費を設定し，観覧席整備工事，夜間照明灯整備工事を行っています。
 - ・グラウンド整備工事（土の入替え）を平成28年度に行います。



川口運動公園野球場完成イメージ

【今後の予定】

供用開始時期は，平成29年7月の予定です。

期待される効果・成果目標等

利用者の利便性，観客の観戦環境の向上及び安心・安全な施設運営に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

学校給食センター再整備事業

(継続)

担当 教育委員会
学務課

予算額			20,835	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成24年度～平成31年度	全体事業費	3,810,630
		地方債		施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実		
	一般財源		20,835	施策の内容	8 学校給食の充実		

事業の目的

第一及び第二学校給食センターについては、施設設備の老朽化が著しく、また、耐震基準を満たしていないことなどから、新たな用地に1センター方式で再整備をします。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成24～25年度 再整備基本構想策定
- 平成25年度 事業手法検討調査実施

【今年度事業内容】

- プロポーザル実施要領等策定研究旅費 35千円
- 基本・実施設計・地質調査委託料(平成28～29年度の2か年で継続費を設定)

- 土地測量委託料 4,800千円



第一学校給食センター
(築46年)



第二学校給食センター
(築41年)

(単位：千円)

【今後の予定】

- 供用開始 平成31年9月(予定)

平成28年度	平成29年度	計
16,000	64,000	80,000

期待される効果・成果目標等

新しい給食センターを整備することにより、安心・安全でおいしい学校給食を継続して提供することができます。また、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応も可能な施設であるとともに、地産地消や食育の推進にも寄与します。

主要事業の概要

特別会計

4月1日 金曜日



©土浦市

款	地域支援事業費	項	包括的支援事業・任意事業費
---	---------	---	---------------

在宅医療・介護連携拠点事業

(継続)

担当 保健福祉部
高齢福祉課

予算額			2, 168	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	1, 269	事業期間	平成28年度	全体事業費	2, 168
		地方債		施策の大綱	2－4 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
		その他		施策名	4 生きがいをもって元気に暮らせる高齢者福祉の充実		
	一般財源	899	施策の内容	3 安心して暮らせる環境づくり			

事業の目的

高齢者が安心して住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう、在宅医療と介護を一体的に提供することを目指し、多職種協働による包括かつ継続的な在宅医療と介護の支援体制を構築します。

事業の概要

【これまでの経緯】

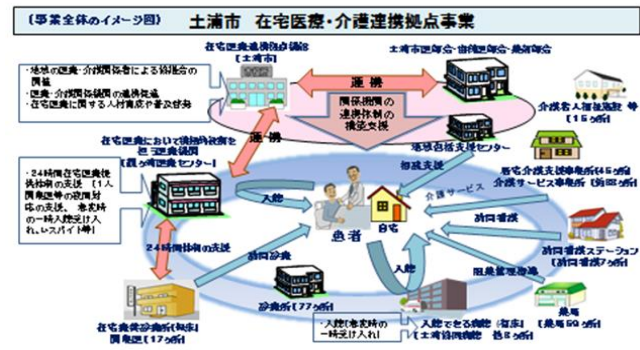
地域医療・介護総合確保推進法施行に伴い、平成26・27年度に茨城県のモデル事業として実施し、研修会や意見交換会の開催による多職種の顔の見える関係性づくりを行いました。また、市民や専門職種の意識調査の結果に基づき、多職種の連携強化に資するツールの作成や、チラシ、ホームページ等の作成、市民講演会等を開催し、事業の周知啓発を行いました。

【今年度事業内容】

- 多職種における現場レベルでの連携強化を推進するため、主に下記の事業を実施します。
- ①連携ツールの活用やネットワーク強化に資するグループワークの開催
 - ②事業の啓発等に資する日常生活圏域ごとの市民講座の開催
 - ③市民、専門職に向けた医療機関・介護事業所の情報を掲載するガイドの作成

【今後の予定】

在宅医療・介護連携に関する相談支援窓口の設置やICT化を検討し、連携体制構築の拡充に努めます。



期待される効果・成果目標等

在宅医療・介護サービス提供体制が充実し、療養や看取りの場として在宅を選択する市民が増えることで、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度においても、市民が適切に医療・介護サービスを享受し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができます。

款	地域支援事業費	項	包括的支援事業・任意事業費
---	---------	---	---------------

認知症施策推進事業

(継続)

担当 保健福祉部
高齢福祉課

予算額			991	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	579	事業期間	平成28年度	全体事業費	991
		地方債		施策の大綱	2－4 保健・福祉サービスの充実した，人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
		その他		施策名	4 生きがいをもって元気に暮らせる高齢者福祉の充実		
	一般財源		412	施策の内容	1 生活支援の推進		

事業の目的

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指します。

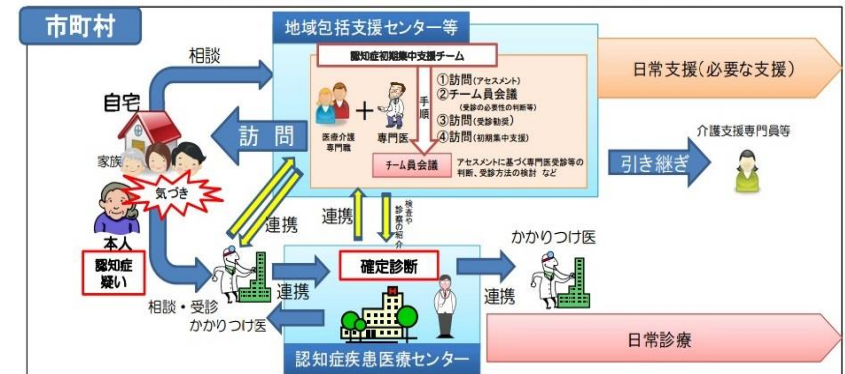
事業の概要

【これまでの経緯】 平成27年1月の認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の策定、平成27年度の介護保険制度の改正により、地域支援事業が見直され、認知症対策をより重点的に実施することが義務付けられました。

【今年度事業内容】

- (1) 認知症初期集中支援チームの設置 《平成28年10月設置予定》
認知症の早期診断・早期対応に向けた専門職によるチームを設置し、認知症の方やその家族を支援します。
- (2) 認知症カフェの設置 《平成28年10月設置予定》
認知症の方が社会との関わりを持ち、介護者同士が情報交換などができる集いの場を創出します。
- (3) 認知症ケアパスの作成
日常生活圏域において、認知症ケアに係る社会資源や症状にあったケアの流れを明らかにするツールを作成します。

【今後の予定】 関係機関と連携しながら、認知症に関する啓発、支援体制の強化を行っていきます。



認知症初期集中支援チームの概念図

期待される効果・成果目標等

認知症の人に早期に関わり、適切な医療・介護等へつなぐことができる体制の構築や、集いの場を創出することにより、認知症の人が社会性を持ち続けることができ、また、介護者の負担軽減が期待され、認知症の人が自分らしく暮らし続けることができる地域づくりに寄与します。

款	下水道費	項	下水道管理費
---	------	---	--------

下水道長寿命化対策事業

(継続)

担当 建設部
下水道課

予算額			45,500	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	22,750	事業期間	平成26年度～平成30年度	全体事業費	396,034
		地方債	22,700	施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	6 快適な生活を支える下水道の整備		
	一般財源		50	施策の内容	1 公共下水道（污水）整備事業の推進		

事業の目的

下水道施設の健全度に関する点検・調査結果に基づいた長寿命化計画により、予防保全的な管理を行います。また、計画的な改築を行うことにより、事故などの未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ります。

事業の概要

◎全体計画の概要

マンホール鉄蓋更新 84か所、公共下水道管渠^{きよ}更生 714.56m、公共下水道人孔更生 3基

【これまでの経緯】

平成20年度に国庫補助事業における下水道長寿命化対策支援制度が創設され、これにより、長寿命化対策を形成し、計画に基づいた施設改築を行っています。

平成24年度 管渠^{きよ}長寿命化計画策定

平成25年度 長寿命化計画について、国の認可を取得

平成26年度 管渠^{きよ}更生実施設計、マンホール鉄蓋更新工事(36か所)

平成27年度 マンホール鉄蓋更新工事(28か所)、公共下水道人孔更生工事(3基)
公共下水道管渠^{きよ}更生工事(220.55m)

【今年度事業内容】 マンホール鉄蓋更新工事(13か所)、公共下水道管渠^{きよ}更生工事(184.0m)

【今後の予定】 平成30年度までに、長寿命化計画で定められた管渠^{きよ}更生工事を完了させることを目標として、実施します。



施工前



施工後

管渠^{きよ}更生工事整備状況

期待される効果・成果目標等

事故などの未然防止及びライフサイクルコストの最小化に寄与します。

※平成28年度末進捗率(予定)：公共下水道管渠^{きよ}工事整備延長 56.6%(前年度比25.7%増)

款	下水道費	項	下水道建設費
---	------	---	--------

公共下水道（污水）整備事業

（継続）

担当 建設部
下水道課

予算額			542,024	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	120,000	事業期間	平成28年度	全体事業費	542,024
		地方債	355,800	施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他	41,598	施策名	6 快適な生活を支える下水道の整備		
	一般財源		24,626	施策の内容	1 公共下水道（污水）整備事業の推進		

事業の目的

生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図るため、計画的に公共下水道の整備を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和41年度 公共下水道の整備着手

昭和48年度 霞ヶ浦湖北流域下水道の流域関連公共下水道に変更

平成21年度 全体計画変更(計画期間は、平成37年度まで。計画面積 6,017.2ha)

平成23年度 事業認可変更(排水区域の拡大、期間の延伸)

【今年度事業内容】

◎公共下水道（污水）整備事業

管渠整備工事 L＝4,320m、実施設計委託 L＝6,090m

公共下水道事業認可計画変更委託（事業認可計画の更新業務。更新後の計画期間は、平成29年度～平成33年度）

◎特定環境保全公共下水道事業（市街化調整区域における公共下水道整備事業）

管渠整備工事 L＝100m

【今後の予定】

平成27年3月末現在の事業認可区域面積に対する整備率は、80.9％であり、今後も引き続き、未整備地区（手野町・田村町・沖宿町・粕毛町・右舂・荒川沖地区等）の整備を進めます。



田村第一処理分区手野町地内整備状況

期待される効果・成果目標等

市民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与します。

※目標：人口普及率 90.0％（平成27年3月末現在の本市の人口普及率 87.8％。参考 全国平均 77.6％，茨城県平均 60.0％）

款	下水道費	項	下水道建設費
---	------	---	--------

公共下水道雨水排水路整備事業

(継続)

担当 建設部
下水道課

予算額			961,500	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	252,460	事業期間	平成28年度	全体事業費	961,500
		地方債	708,300	施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
		その他		施策名	5 浸水被害に強いまちづくり		
	一般財源		740	施策の内容	4 公共下水道（雨水）整備事業		

事業の目的

市街化の進展に伴う降雨時の家屋・道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。

事業の概要

事業名	【これまでの経緯】	【本年度事業内容】	【今後の予定】
木田余1号雨水幹線整備事業	木田余地内のJ R横断部工事委託 ※平成25年度～平成29年度債務負担行為設定	J R常磐線横断工事委託 □3,400mm×2,300mm L=20m ※平成25年度～平成29年度債務負担行為設定	J R常磐線横断部委託工事，BOXカルバート布設工，排水路布設工等（～平成31年度）
神立菅谷雨水幹線整備事業	- 平成24年度に事業認可を受けた「神立菅谷雨水幹線」について補助事業による調整池整備と単独事業による雨水幹線暫定整備工事等を実施 - J R横断部詳細設計 ※平成25年度～平成27年度継続費設定	- J R常磐線横断工事委託 □3,400mm×2,100mm L=21m ※平成28年度～平成31年度債務負担行為設定 - J R常磐線横断工事に伴う用地取得（補助分） - 神立菅谷雨水幹線(函渠)整備工事 □3,800mm×2,500mm L=40m - 神立菅谷雨水幹線(調整池)工事 土工底盤工等 (単独分) - 神立菅谷雨水幹線(函渠)付帯工事 - 神立菅谷雨水幹線(調整池)工事 残土処分 $V=12,000\text{m}^3$	J R常磐線横断部委託工事，BOXカルバート布設工等及び調整池整備工事（～平成31年度）  神立菅谷雨水幹線調整池整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し，市民の生活環境の向上に寄与します。

款	再開発事業費	項	再開発事業費
---	--------	---	--------

土浦駅前北地区市街地再開発事業

(継続)

担当

都市整備部
土浦駅北開発事務所

予算額			4, 190, 148	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	950, 150	事業期間	平成18年度 ～ 平成29年度	全体事業費	7, 551, 010
		地方債	2, 029, 800	施策の大綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	997	施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備		
	一般財源		1, 209, 201	施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備		

事業の目的

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地活性化の主要事業として、土浦駅前北地区に図書館、ギャラリーを核とした再開発事業を実施し、市庁舎移転とともに周辺地区への波及効果を高めることで、活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

事業の概要

◎市街地再開発事業（平成27～29年度継続費 6, 265, 683千円）

◎土浦駅北通り線整備事業（平成27～29年度継続費 233, 101千円）

【これまでの経緯】

平成26年度に実施設計を取りまとめ、平成27年度には権利変換計画の認可を受けるとともに、施設建築物工事及び道路整備工事に着手しました。

【今年度事業内容】

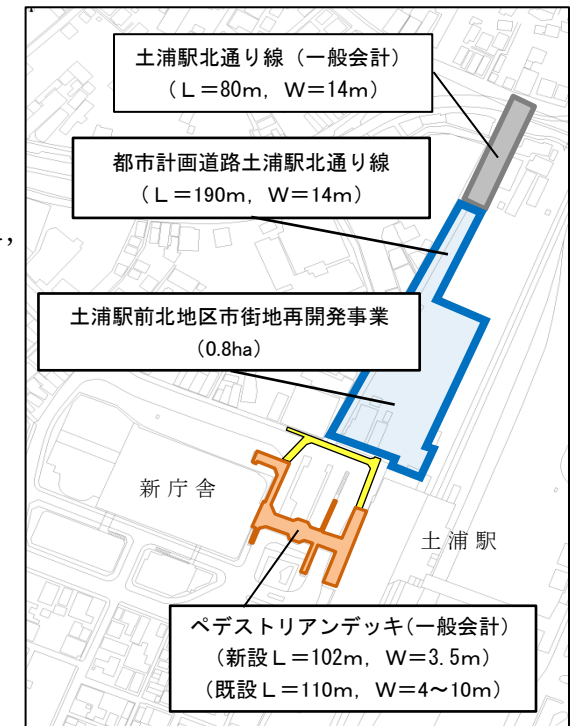
○市街地再開発事業

- ・施設建築物工事 3, 982, 040千円
- ・工事監理，管理運営計画作成，
コーディネート委託，
支障物件移設補償等 107, 722千円

○土浦駅北通り線整備工事 100, 386千円



施設イメージ図



位置図

◎関連事業（一般会計）

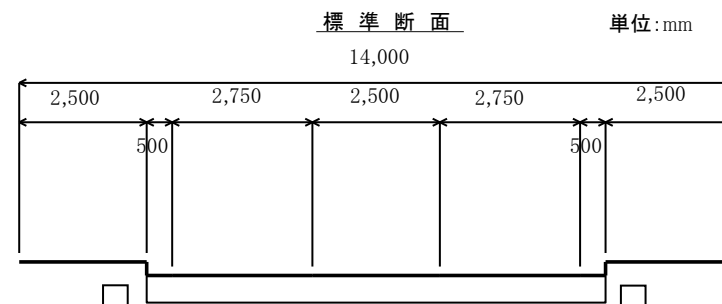
○土浦駅北通り線整備事業（平成27年～29年度継続費 総額79,649千円）

- ・道路拡幅整備（9.5m→14m，両側歩道2.5m）

L=80m，W=14m

- ・電線共同溝

小型トラフ 410mm×240mm，L=124m



都市計画道路 土浦駅北通り線

【今年度事業内容】

支障物件移設，電線地中化工事委託，道路整備工事等 45,330千円

○土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業（平成26～28年度継続費 総額1,014,563千円）

- ・新設ペDESTロリアンデッキ L=102m，W=3.5m
- ・既設ペDESTロリアンデッキ L=110m，W=4～10m

【今年度事業内容】

新設ペDESTロリアンデッキ整備工事等 127,177千円

【今後の予定】

継続して整備工事を進め，平成29年度に工事が完了し，施設のグランドオープンを目指します。



ペDESTロリアンデッキ 完成イメージ図

期待される効果・成果目標等

市庁舎移転等と併せて，駅前周辺環境が大きく改善されることから，中心市街地としての魅力の再生・活性化，安全・快適な駅前環境の創出及び都市の防災性の向上など，駅前の新しい顔づくりにより本市が抱える多様なまちづくりの問題解決に資するものです。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

配水管施設整備事業／老朽管更新事業

(継続)

担当 建設部
水道課

予算額			910,000	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成28年度	全体事業費	910,000
		地方債	200,000	施策の大綱	2－6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他	33,760	施策名	5 適正な公共施設の維持管理と整備		
		一般財源	676,240	施策の内容	2 送配水管整備の推進		

事業の目的

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、配水管の計画的な整備を行い、未給水地域を解消するとともに、安心安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、耐用年数の経過した铸铁管等の計画的な更新を行います。

事業の概要

◎配水管施設整備事業：未給水地域の解消と安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路網の充実を図ります。

【これまでの経緯】 平成20年度～平成27年度 布設延長 L＝29,248m

【今年度事業内容】 実施設計委託 L＝2,330m, 配水管布設工事 L＝3,430m
消火栓設置 10基 事業費 210,000千円

【今後の予定】 第一次拡張計画に基づく配水管整備は、おおむね市内全域に普及しており、今後は、残る地域について、配水管網の整備を推進します。

◎老朽管更新事業：施設の強化・耐震化により、漏水事故の未然防止と有収率の向上を図ります。

【これまでの経緯】 平成20年度～平成27年度 布設替延長 L＝33,836m

【今年度事業内容】 実施設計委託 L＝9,090m, 老朽管更新工事 L＝7,060m
事業費 700,000千円

【今後の予定】 耐用年数を超えた铸铁管・鋼管等について、計画的な更新工事を推進します。



工事の様子

期待される効果・成果目標等

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の確保に寄与します。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

配水場整備事業（右叡配水場）

（継続）

担当	建設部 水道課
----	------------

予算額			271,000	(単位：千円)			
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	平成21年度～平成30年度	全体事業費	2,116,470
		地方債		施策の大綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり		
		その他		施策名	5 安定した上水道の供給		
	一般財源		271,000	施策の内容	1 配水場施設整備の推進		

事業の目的

老朽化した施設（昭和45年建設）を更新し、給水エリアに対応した施設能力を確保するとともに、災害に備えた施設を整備することにより、水道水の安定供給を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

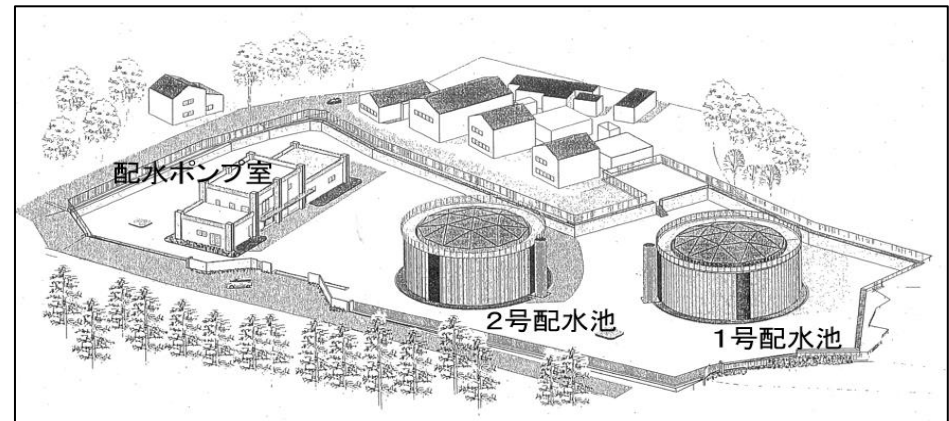
平成21年度～平成25年度 用地取得，基本・実施設計，造成工事
 平成26年度 配水池築造工事（平成27年度に繰越し）
 平成27年度 配水ポンプ室築造工事，機械・電気計装
 設備工事，場内配管工事

【今年度事業内容】

場外配水管工事 $\phi 500\text{mm}$ $L=244\text{m}$
 場外送水管工事 $\phi 400\text{mm}$ $L=78\text{m}$
 場内整備工事 擁壁，門扉及び付帯工事等
 道路整備実施設計委託 $L=313\text{m}$ ， $A=693\text{m}^2$

【今後の予定】

平成29年度 供用開始，外構及び道路整備工事，既設配水場撤去実施設計
 平成30年度 既設配水場撤去工事



右叡配水場完成予想図

期待される効果・成果目標等

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害に強い施設を確保することで、災害時の水の安定供給に寄与します。

※平成27年度末進捗率：80.1%（平成28年度末予定：93.0%）

第7次土浦市総合計画体系別主要事業一覧表

この一覧表は、平成19年度に策定した第7次土浦市総合計画の「計画推進の基本姿勢」及び「施策の大綱」に謳われた8つの柱に基づいて、主要事業を表示したものです。

事業	頁
【行財政改革の推進と市民サービスの向上】	
出生届・婚姻届お祝いシート発行事業	24
証明書コンビニ交付事業	25
【市民と行政が一体となった協働のまちづくり】	
シティプロモーション推進事業	18
地域公民館整備事業	21
協働のまちづくりファンド事業	48
【将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり】	
水郷筑波サイクリング環境整備事業	20
道路新設改良事業	46
かわまちづくり事業	49
亀城モール整備事業	50
立地適正化計画策定事業	51
常名虫掛線街路事業	54
真鍋神林線延伸道路整備事業	55
田村沖宿線延伸道路整備事業	56
荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業	57
川口田中線街路事業（Ⅲ期）	58
土浦港周辺広域交流拠点整備事業	60

事業	頁
【保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり】	
軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業	26
生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）	27
私立保育園整備事業	28
市民による市民のための健康減量教室事業	29
在宅医療・介護連携拠点事業	75
認知症施策推進事業	76
【心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり】	
情報教育関係事業	62
小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業	63
新治地区小中一貫教育学校整備事業	64
「大畑からかさ万灯」記録調査事業	65
武者塚古墳出土品保存台製作事業	66
重要資料公開推進事業／特別展・企画展事業	67
新図書館施設整備事業／美術品展示室整備事業	68
水郷プール再整備事業	69
川口運動公園野球場観覧席、夜間照明灯及び関連施設整備事業	70
学校給食センター再整備事業	71

事業	頁
【市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり】	
防犯対策事業	22
地域防災対策整備事業	23
道路ストック修繕事業／市道路面下空洞修繕事業	43
橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業	44
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業	46
常備消防車両更新事業	61
公共下水道雨水排水路整備事業	79
【産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり】	
ふるさと土浦応援寄付事業	19
有害鳥獣(イノシシ)捕獲事業	37
新しい農業研究開発事業	38
一般地帯土地改良事業	39
企業誘致事業	40
イルミネーション事業	41
第85回土浦全国花火競技大会開催事業	42
協働のまちづくりファンド事業	47
土浦駅西口広場整備事業	52
神立駅西口地区土地区画整理事業	53
まちなか定住促進支援事業	59
土浦駅前北地区市街地再開発事業	80

事業	頁
【人と環境にやさしい循環型社会づくり】	
市営斎場整備事業 《合併特例債事業》	30
一般廃棄物有料化事業	31
生ごみ及びプラスチック製容器包装分別収集事業	32
第2次土浦市ごみ処理基本計画(後期計画)策定事業	34
ごみ焼却施設整備事業	35
環境基本計画見直し事業	36
下水道長寿命化対策事業	77
公共下水道(汚水)整備事業	78
配水管施設整備事業／老朽管更新事業	82
配水場整備事業(右廻配水場)	83



©土浦市